

第四十四回帝國議會
衆議院

水產會法案委員會會議錄(筆記)第一回

委員會成立

本委員ハ大正十年二月十九日議長ノ指名ヲ以テ左ノ
通り選定セラレタリ

松本孫右衛門君 黒住 成章君 秋本 喜七君

廣瀬 鎮之君 池田猪三次君 山口 熊野君

廣岡宇一郎君 成田 榮信君 牧山 耕藏君

向井 倭雄君 竹澤 太一君 井上 剛一君

高木 正年君 磯貝 浩君 小池 仁郎君

高草美代藏君 高柳覺太郎君 佐々木平次郎君

同月二十一日午前十時三十五分委員長理事互選ノ爲
各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

松本孫右衛門君 黒住 成章君 秋本 喜七君

山口 熊野君 向井 倭雄君 井上 剛一君

高木 正年君 磯貝 浩君 小池 仁郎君

牧山 耕藏君

年長者高木正年君投票管理者トナル

○投票管理者(高木正年君)ハ委員長及理事ノ互選ヲ
行フヘキ旨ヲ宣告ス

○山口熊野君ハ投票ヲ用キス松本孫右衛門君ヲ委員
長ニ推薦シ理事ハ其ノ數ヲ三名トシ委員長ノ指名ニ

一任スヘシトノ意見ヲ提出ス

○投票管理者(高木正年君)ハ山口君ノ意見ニ異議ナ
キヲ認メ松本孫右衛門君ハ委員長ニ當選シタル旨ヲ

宣告ス

(此ノ時投票管理者退席シ松本孫右衛門君委
員長席ニ著ク)

○委員長(松本孫右衛門君)ハ池田猪三次君、高草美
代藏君及佐々木平次郎君ヲ理事ニ指名シ散會ヲ宣告
ス

于時午前十時四十五分

會議

大正十年二月二十三日午後一時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

松本孫右衛門君 黒住 成章君 池田猪三次君

山口 熊野君 廣岡宇一郎君 成田 榮信君

牧山 耕藏君 向井 倭雄君 竹澤 太一君

井上 剛一君 高木 正年君 磯貝 浩君

小池 仁郎君 高草美代藏君 佐々木平次郎君

出席政府委員左ノ如シ

農商務大臣 男爵山本 達雄君

農商務次官 田中 隆三君

農商務省水產局長 村上 隆吉君

産業ハ振ハナイ、我國ハ殊ニ四面環海ノ國デア
ルニモ拘ラズ、農業其他ノ事業ニ對スル程ニハ進
ンデ居ナイ、水産ハ今日尙ホ昔ト餘リニ變
タヤウナ狀況ハ無イヤウニ考ヘマス、然ルニ私共ハ歐洲ノ大戰後切
ニ感ジマスノハ、日本ガ斯ノ如ク年々多クノ人口ヲ
繁殖サレテ居ルニモ拘ラズ、帝國内ニ於ケル日本人
ノ活動心ハ鈍イヤウニ考ヘマス、今日我國ハ世界ノ
總テカラ孤立サレテ居ルヤウナ狀態ニナツテ、外交モ
振ハズ、隨テ商業モ振ハズ、産業方面ニ於キマシテモ
振ハズ、特ニ昨年以来色々輸入ハ超過ニナツテ、輸出
ハ減少シテ居ル様ナ次第デアリマスガ、此場合ニ於
テ私共ハ、最モ發達スベキ餘地ヲ有シテ居ルモノハ、
獨リ水産業アルノミデアルト思フ、即チ前ニモ申上
ゲタ通り、世界ノ何レニ參ッテモ、日本人ガ何等ノ故
障ナク移住シ、發展シ得ラレル部分ハアリト申シタ
イケレドモ、殆ド無イト申シテ宜イ様ナ狀態ニ今日
ハナツテ居ル、然ルニ獨リ海面ニ於キマシテハ、太平
洋、南太平洋ニ於キマシテ、若シ日本ガ十分ニ之ヲ指
導シ、獎勵シテ其行道ヲ開キ、其根據地ヲ造リ、之ニ
向ホ多クノ人ヲ遣リ、適當ナル保護獎勵ノ途ヲ以テ
シマシタナラバ、是レ以上日本人ノ活動スル餘地ハ、
獨リ海面ニノミ殘サレテ居ル様ニ私ハ思フ、所ガ毎
年受取ル所ノ政府ノ豫算ヲ見マシテモ、近來歐洲ノ
戰爭以後ニ於キマシテ新シク多大ノ發展ヲサレテ、
各省毎ニ少ナクモ千萬圓位ノ要求ヲシテ居ル、農
務省モ要求ナスツテ御在デアリマセウガ、若シ假リニ
一年五百萬圓位ノ金ヲ、水産業ノ上ニ政府ガ年々豫
算ヲ御編成ニナリマシタナラバ、ドレダケ水産業ト
云フ者ハ發達スルカ判リマセヌバ、今日遠洋漁業ニ
僅カナ計畫ヲ致シテ、之ニ依ツテ漁港ノ修築マデモヤ
ラセルト斯ウ云フ狀況ニナツテ居ル、其他水産業ノ調
査ニ就キマシテモ、現任水產局長ハ中々御勉強ニナ
ツテ居ルノデアリマス、併シ如何ニシテモ手ヲ擴ゲル
ダケノ資金ヲ與ヘナケレバ現在ノ水産業モ自然出來
ナイト云フ事ニナツテ居ル、ドウシテモ今日ハ沿岸漁

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

○委員長(松本孫右衛門君) ソレデハ是ヨリ會ヲ始
メマス、前會高木君ヨリ農商務大臣ノ出席ノ要求ガ
アリマシタ、今日取計ッテ置キマシタ所、只今御見エ
ニナツテ居リマスカラ……

○高木正年君 此度水産會ナルモノガ公法人トシ
テ、之ヲ法律ニ依ツテ設置サレコトニナリマシタニ
就テハ、私共水産業ニ關係ヲ致シマシテ、斯業ノ發達
ニ苦心ヲ致シテ居リマス者ノ上カラ見マスルト、頗
ル此法案ヲ議會ニ提出サレタ事ハ満足ニ考ヘルノデ
アリマス、唯ダ私ガ此際ニ於テ政府ノ御所信ヲ承ッテ
置キタイノハ、私共ハ丁度明治十二年デアリマシタ
カ此水産會ナルモノヲ起シマシテ品川彌二郎氏ヲ首
メ、當時十二人ノ人々ガ寄ツテ發起者トナリマシタ
ガ、今日ハ大部分故人ニナツテ居リマス、今ハ牧朴眞
君ト私共ヲ入レテ僅ニ三四人ノ人ガ今日生存シテ居
リマス、其間四十餘年ノ中ニ勿論及バズナガラ、農
商務省ノ農務局ノ一課トシテ、水産課ヲ置カレテ、
一方ニ甚ダ振ハナイモノデアッタガ、後ニ漸ク私立ノ
水産練習所ヲ造リマシテ、私共六七人ノ者デヤツテ居
リマシタガ、後ニ是ガ講習所トナリマシタ、又農務局
ノ一課デアッタ水産課ハ水產局トナリマシタト同時
ニ、我黨ノ努力ニ依ツテ、昔ヨリハ段々發達シテ來テ
居ルノデアリマス、併シ四十餘年ノ間ニ於ケル徑路
ヲ考ヘテ見ルト、農會若クハ其他ノ會ニ對スル程、水

第五類第二十四號 水產會法案委員會會議錄(速記)第一回

大正十年二月二十三日

第一回

水產會法案

農商務省水產局長 村上 隆吉君

農商務次官 田中 隆三君

農商務大臣 男爵山本 達雄君

出席政府委員左ノ如シ

農商務省水產局長 村上 隆吉君

農商務次官 田中 隆三君

農商務大臣 男爵山本 達雄君

出席政府委員左ノ如シ

農商務省水產局長 村上 隆吉君

農商務次官 田中 隆三君

農商務大臣 男爵山本 達雄君

出席政府委員左ノ如シ

農商務省水產局長 村上 隆吉君

農商務次官 田中 隆三君

農商務大臣 男爵山本 達雄君

出席政府委員左ノ如シ

農商務省水產局長 村上 隆吉君

農商務次官 田中 隆三君

農商務大臣 男爵山本 達雄君

出席政府委員左ノ如シ

農商務省水產局長 村上 隆吉君

農商務次官 田中 隆三君

農商務大臣 男爵山本 達雄君

出席政府委員左ノ如シ

農商務省水產局長 村上 隆吉君

業ト云フモノニ依ッテ、日本ノ水産業ハ發達シ様ト
思ッテ居ラス、沿岸漁業ハ今日始下開キ盡シテ居ル、
今日ニ於テハ「トロール」漁業ノ如キ其他ノモノニ
十分制限ヲ與ヘナケレバ、是マデ養ヒ且是マデ眞ニ
手ヲ盡シタ漁場等モ、寧ロ濫漁ノ爲メニ荒レ果テ
ト云フ事ニナッテ居ル、獨リ殘サレタルハ洋上ノ漁業
此洋上ノ漁業ニ就テハ、一ハ船ニ對スル所ノ保
護ノ方法、一ハ其船ノ由ッテ以テ據ル所ノ漁港修築ヲ
シテ、十分力アル狀態ニ於テ此業ニ著手スルト云フ
事ニシナケレバナラスノデス、今日ハ漁港ノ修築ノ
如キモ、要スルニ地方事業ニ屬シテ居ル、二十萬三十
萬ノ金ニ依ッテアル所ハ、或ハ其府縣ノ力ニ依ッテヤ
リ得ル所モアル、併ナガラ漁港トナリマスルト今日
少サイ者デモ百萬圓位掛ル、銚子港ノ如キニナリマ
スルト一昨年ノ見積リデモ六百萬圓掛ル、中一地方
ノ費用デ出來得ベキ筈ハナインノデアル、ソレ故ニ
漁港ノ事モ一昨年來私共建議案トシテ政府ニ建議シ
テ、國ニ之ヲヤラセル、即チ前ニモ申シタ如ク、少ク
トモ一年五六百萬圓ヲ水産業ニ振向ケテ、其内五百
萬圓ガ年々出ル事ニナリマスレバ、五年ノ年期デ漁
港修築ヲシマシテ、大小併セテ十箇所位ノ漁港ノ修
築ニ掛レル、漁港ト申シテモサウ澤山數ハ無イノデ
アリマセウガ、二十カ四十カ出來マシタナラバ、大抵日
本ノ遠洋漁業ノ根據地トナリ得ル、ソレガ今日マデ
一向出來ナイ、出來ナイノハ必ズシモ獨リ政府ノ努
力ノ足りナイトモ言ハナイ、日本ノ政治ノ狀態ハ、水
産業ニ力ヲ盡シ得ナイ狀態デアルト云フ事ヲ私ハ知
ッテ居ル、ソレハ何デアルカト云フト、元來日本ノ中
デ最モ産業上發達シ、最モ保護ノ行届イテ居ルノハ
農業デアリマス、之ニ次デハ商工業デアリマスケレ
ドモ、農業ハ如何ニシテ宜イカト云ヘバ、農業ハ政治
的ノ基礎ヲ持ッテ居ル、政治的ノ基礎ハ何デアルカト
云フト、選舉權ナルモノヲ農民ガ比例上日本國民中
一番多ク有ッテ居ル、隨ッテ是等ノ關係代議士ガ多ク
出ルト云フ事ハ當然デアリマス、然ルニ此水産業ニ
於テハ選舉權ヲ有ッテ居ラス、現在ノ日本ノ選舉程度
ニ於キマシテノ選舉權ト云フモノヲ、水産業者ハ有

ッテ居ラス、成程北海道ニ於ケル、或大キナ網ヲ持ッテ
居ル、大キナ漁場ヲ持ッテ居ル持主、北陸ニ於ケル網
ヲ持ッテ居ル持主ト云フ様ナ者ハ有ッテ居ルケレド
モ、國民的ニ而モ日本ノ人口中農業者ノ有權者ハ一
番多イガ、水産業者ハ一番有權者ガ少ナイ、何故カト
云ヘバ、船ハ持ッテ居ルケレドモ、船ニ國稅ハ無イ、家
ハ持ッテ居ルケレドモ家ニハ國稅ハ無イ、所謂直接國
稅ヲ納メルモノガ漁民ニハ無イ、ソレ故ニ獨リ衆議
院議員選舉權ガ無イバカリデナクシテ、府縣議員
ノ選舉權モ無イ、静岡縣ノ如キ水産業ノ中盛シナ
所デ、殊ニ海ニ沿ッテ居ル濱モ極メテ廣イノデアル
ガ、一人ノ縣會議員スラモ出ス事ハ出來ナイ、千葉縣
ノ如キモ矢張同様デアリマス、是ハ即チ政治的ニ水
産業ガ基礎ヲ持ッテ居ラスカラ、今日マデ發達ガ出來
スノデアル、最早今日ハ水産業ヨリ外ニ手ヲ擴ゲテ、
何等外國ノ妨ガ起フズ、靜ニ廣キ太平洋、南太平洋ニ
渡ッテマデ行ク事ノ出來ルモノハ無イ、殊ニ昨今ハ勘
察加、薩哈噠島ニマデ十分手ヲ伸バセルト云フ事ニ
ナッテ居ル、政府ハ此際十分ナル御決心ヲ以テ、豫算
ノ上ニ按排ヲナサツテ、漁港ノ修築ヲ地方的ニヤラズ
國家的ニナサル、サウシテ先ヅ遠洋漁業ニ對スル根
據地ヲ造ルト同時ニ、一面遠洋漁業船ニ對シテモ、船
舶ノ保險等ニ就キマシテモ、噸數ノ制限ヲ改メテ、保
險ヲ附ケ、獎勵ヲ行ヒ、其根據地タル漁港ハ速ニ之ヲ
スル、斯ウ云フ様ニシマスレバ、四面環海ノ國デアリ
マスカラ、今日最モ我國ニ不足ヲ感ジテ居ル副食物
ノ如キモ、所謂牛肉豚肉ニ依ラズシテ、魚ニ依ッテ十
分昔カラノ習慣ヲ續ケテ、國民ノ健全ヲモ之ニ依ッテ
一層増シ得ル機會ヲ作り得ルト私ハ信ジテ居リマス
ガ、從來ドウモ水産業ニ就テハ、政府ノ御決心ガ何時
モ煮切ラナイ、煮切ラナイト云フヨリモ、殆ド御決心
ガ無イカト思フ程ニ、水産業ニ對シテ御盡力ガ足リ
ヌヤウニ考ヘテ居リマス、此點ニ就テ充分ニ政府ノ
御意見ノ在ル所ヲ承リタイ

○國務大臣(男爵山本達雄君) 御質問ノ要點ニ就キ
マシテハ、水産ハ如何ニモ必要ナルニモ拘ラズ、今マ
デ出テ居ラスカラシテ、モウ少シ政府デ馬力ヲ掛ケ
テ、此方ニ進ンデ行クト云フ意味ニ就テノ御質問ノ
ヤウデアリマスガ、一應御尤ノ事デゴザイマシテ、ド
チラカト云フト、農業アタリニ較ベマス、一體ニ施
設ガ餘程遅レテ居ルノデアリマス、自然今日此本案
トナリマシタ如ク、組合法モ漸ク今日提出シテ、御協
賛ヲ仰グヤウナコトニナッテ居リマス、ソレデアルカ
ラシテ、政府ニ於テモ此方ニ就キマシテハ、成タケ力
ヲ費シタイト云フ考デアリマシテ、今ノ漁港ナドニ
就テハ、年々二箇所二箇所ヅツ、約二分ノ一ノ經費ヲ
國庫ヨリ補助シテヤルト云フ事ニナッテ居リマス、是
モ今ノ銚子ノ如キ既ニ昨年ヨリ修築ニ掛ッテ居リマ
スガ、非常ナル金ヲ要スルヤウナ所デアリマス、又
ソレハ特別ニ國家ガ專ラトシテ總テ國費ヲ以テヤル
ト云フコトハアリマスガ、先ヅ今ノ程度デアリマス
ト、矢張非常ナル大キナモノデモ、現ニ二分ノ一ヲ國
庫ヨリ支給シタラ出來得ル程度デヤッテ居ル、先ヅ此
邊ノ所デ以テ、マダノ進メル場所ガ多イデアリマ
スカラシテ、ソウ云フヤウナ風ニ成タケ先ヅ、多ク向
ケテ行ツタ方ガ宜カラウト云フ方針ヲ執ッテ居リマ
ス、ソレカラ經費ノ點デアリマスガ、本年ノ如キハ丁
度臨時經常併セテ九十七萬圓ノ經費ニナッテ居リマ
ス、其中デ今ノ水産講習所ノ如キモノニ行キマシテ
ハ、ドウモ此科學的應用ガ擴ッテ參リマシタノデ、ド
ウシテモ斯道ニ就テ學識ヲ或程度マデ備ヘテ行クコ
トガ必要デアリマス、ソコデゴザイマスカラシテ、彼
ノ仕事ニ就キマシテモ少シ程度ヲ高メテ、サウシテ
追々進ンデ行カウト云フコトデ今度モ提出シテ居ル
ヤウナ次第デアリマス、ソコデ先ヅ今ノ政府ト致シ
マシテハ、相當ニ此方ニ就テハ進メテ行ク考ヲ以ッ
テ、今日進ンデ行ク次第デアリマスカラ、今迄ノ豫算
ニ就テモ、比較的年々増ス高ハ殖エルコトニナッテ居
リマス、餘程殖エテ來テ居リマス、殊ニ此遠洋漁業ニ
就キマシテモ、樺太、薩哈噠、白令海峽ニ掛ケマシテ
中ニ擴ッテ來テ居リマスカラ、此邊ニ就テモ相當ニ力
ヲ費シテ行クトニ相成ッテ居ルノデゴザイマス

○高木正年君 餘リ長クハ質問シマセス、只今漁港
ノ事ヲ一寸申上ゲマシタラ、大臣カラ御話ガアリマ
シタガ、是迄地方デ半分國ガ半分即チ二分ノ一ト
云フコトハ、實際良イ漁港ヲ造ルニハ極メテ不適當

ナ金ノ支出方デアル、此地方半分ト云フ事ハ、中々今日ノ地方トシテハ苦痛デアル、ソレ故千葉縣ニ出來シタ所ノ白濱、靜岡縣ノ伊東ノ漁港ノ修築ノ如キ、畢竟伊東其ノモノニ金ガアツタ、殊ニ彼ノ當時ノ事情ハ能ク聞イテ知ツテ居リマスガ、如何ニモ今ノ政府デハアリマセヌガ、急速ニ靜岡縣ニ命令ヲ發シタルレガ爲メニ縣會ヲ開クト云フ事モ間ニ合ハスト云フノデ、先ヅ伊東ハ金ヲ持ツテ居ルカラト云フノデ出來タノデアリマス、縣トシテハマダ外ニ適當ナ場所ガアル、拵ヘルナラモット大キナモノデナケレバ役ヲシナイ、奈何セン、私ガ今申シタ通り、段々半分ヲ地方稅ニ依ツテ——縣會邊リデモ漁港ノ事デ何十萬ト云フ金ヲ出スト云フ事ハ、中々議決ガ六カシイ、決議ヲ得ルマデニ縣民ヲ動かスト云フコトハ、所謂政治的ノ基礎ノ無イ水産業者ノ企デアリマスカラ、半分ハ國ガ出シテモ、半分ハ地方デ出スト云フコトハ六カシイノデアリマス、ソレ故思切ツテ此所デハ金額ヲ或ハ五十萬圓以上——地方稅ニシマシテモ二十萬圓、十五萬圓トハ出來ルカモ知レマセヌガ、五十萬圓デハ一寸六ケシイカモ知レマセヌ、兎ニ角金額ガ少シデモ、大キナモノニナリマシタナラバ、組合ガヤル、五萬六萬ノモノナラバ、地方デモ容易ニ出來ルノデアリマス、五萬六萬デモ、隨分發動汽船ノ十隻ヤ七隻入ル所ハ出來ル、隨分便利ニナルカラ惡イトハ申サナイノデアリマスガ、大體ハ少シ大キナモノ、特ニ其利害ガ一地方ニ關係シナイ、或ハ府縣ノ三ツ四ツニモ關係スルト云フヤウナ漁船ノ集中スル場所デアリマシテ、範圍ガ廣イモノニ於テハ、國ガ之ヲ全部負擔スル、斯ウ云フ御方針ヲ御執リニナラナケレバ、漁港ノ發達ハ出來マセヌ、修築ハ出來ナイト云フコトニナレバ、遠洋漁業ト云フコトモ、今日以上ニ多ク發達ハシナイノデアリマス、日本ノ沿岸ノミナラズ、我が委任統治ノ上ニ在ル南洋邊デモ、矢張り若シサウ云フ便宜ガ開カレタナラバ、國ガ百萬二百萬ノ金ヲ費シテモ、忽ニ是位ノ金額ハ國民ガ取ツテ持ツテ歸ルノデアリマス、今日マデノ方針ト云フモノハ、成程年々幾ラカハ進ンデ居リマス、併シ他ノ業ガ進ミ、而モ廣イ海ニ於ケル日本人獨特ノ技術デアル所

ノ水産業ニ就テ、手ヲ伸バス上ニ於テ、農商務省ノ教ヘ方ガ足りナイト感ジテ居リマスノデ申上ゲルノデアリマスガ、漁港ノ點ニ就テハ今爰ニ議論スル場合デアリマセヌガ、今一層御考ニナツテ、本年ハ間ニ合ハスデモ、來年アタリカラデモ、全部國ガ之ヲ造ルト云フ場所ヲ御定メニナツテ、サウシテ順次之ヲヤツテ行クト云フ御方針デナケレバ、連モ水産業ノ際立ッテノ發達ハ難イト思フノデアリマス、重ネテ政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

○國務大臣(男爵山本達雄君) 今ノ御希望旁々御質問ノ趣ハ承知致シマシタガ、何シロ御承知ノ通りニ日本ハ四面環海デアリマシテ、而シテ其漁港ノ如キモノモ凡ソ區域ヲ限ラレテ居ルノデ、非常ニ數ガ多イノデアリマス、如何ニモ浦——所謂津ノ浦——ニ漁夫ノ居ルハ其所ノ沿岸ニ於テ、ソレハ漁業ヲスル者ガ多イノデアリマスカラ、其縣ヨリ他府縣ニ跨ッテ大キナモノヲスルト云フヨリモ、一縣ノ中ニ於テ幾ツモ造ツタ方ガ便利ダト云フヤウナ地形ニナツテ居ル、ソコデ此漁港ヲ造ツテ吳レト云フコトガ、一縣ニ就テ幾ツモアルヤウナ譯デ、是ハドウモ漁村ガ非常ニ彼方此方ニ散在シテ居リ、漁ノ場所ト云フモノガ非常ニ多イノデアリマスカラ、ドウモ數ヲ多クシテ行クト云フコトハ、自然ノ地形ヨリ已ムヲ得ナイコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、ソコデ其中デ成程ソレハ先刻御話ニナリマシタ、銚子ナラ銚子ト云フ如キ場所ニナリマスト云フト、是ハ非常ニ區域ガ廣クナリマスカラ、サウ云フ所ニ造ルノハ、今度ハ數縣ニ互ツテサウシテ之ヲヤルヤウナ必要モ、場合ニ依ツテハ起ルカト思フノデアリマス、ケレドモ、先ヅ今ノ所デハ大キナモノヲ金ヲ掛ケテヤルヨリモ、幾ツモ分ケテ、サウシテ各府縣ノ今日漁村ノ避難ノ場所モ無イト云フ様ナモノニ向ツテ、早ク力ヲ費シタ方ガ今日ノ急要デアラウト云フ積リデヤツテ居ル次第デアリマス、成程今ノ一ツノ漁港ヲ造リマシテモ、縣トシテハ相當ナル經費ノ多イコトデアリマシテ、是ハ餘程其縣ニ於テ、無理ガアラウト思ヒマスケレドモ、又一方カラ云ヒマス、如何ニモ國家トシテヤルベキ事

ガ多イモノデスカラ、矢張り之ヲ國家ガ總テ持タウト云フコトニナリマス、餘程財政上考慮スベキ點ガ起ル、例ヘバ今日ノモノニ就テモ、鹿兒島ヤ靜岡ニ尙ホヤルベキモノガアルガ、國庫トシテハドウモ今年ハヤリ得ナイカラシテ、先ヅ縣ノ方デヤツテ、サウシテ後ニ至ツテ凡ソ約束ダケノ金ヲ支給シテヤルカラ、兎ニ角縣ニ於テ先キニ手ヲ著ケルガ宜シイト云フヤウナコトヲシタヤウナ事デアリマシテ、是モ地勢ノ上或ハ漁港ノ上ニ於テ、已ムヲ得サウ云フヤウナ方法ヲ執ツタヤウナ次第デアリマス、政府ニ於テ力ガ伸ビ得ル——能フコトガアレバ、成タケ御説ノ通りヤリタイ積リデ居リマス

○高木正年君 モウ一度續デスカラ、ドウカ一寸：大臣ハマダ一ツ、幾ラカ御分リニナツテ居ラスヤウデゴザイマスカラ申上ゲマスガ、實ハ沿岸ノ漁港ハ大臣ノ仰セノ如ク、幾個モ數ガ多クアツテ、小サイノモアツテ、所ニ依ツテハ左程澤山ニ發著船ナデアリマセヌガ、五艘デモ六艘デモ入ル所、便利ニ相違ナイ、國トシテ眞ニ水産業ヲ發達サセル様ニシマスニハ、漁業ヲ盛ンシナケレバナラヌ、又其漁業ヲ發達サセルノニ、魚ハ盛ンニ寄ツテ來ルガ、如何ニモ漁港ガ無イ爲メニ、一度難船スル時分ニハ船ヲ壞サネバナラヌ、又陸地ヲ離レテ百五十哩モ二百哩モ出タ時分、餌ガ無イ爲メニ——取リニ戻ツテ來ネバナラヌ、之ガ爲メニマダ釣レル鰹ヲ釣ラズニ戻ツテ來ナケレバナラヌ憂ガアル、彼ノ銚子港ノ如キハ、陸地ニ續イタ港トシテ大ナルモノデアリマスガ、現ニ小笠原島マデハ參リマセヌケレドモ、例ノ硫黃島邊リノ近海マデ延ビル所、伊豆七島ヲ根據トシテ居ル鰹漁ノ如キハ、是ハ決シテ地方的ノ事業デヤナイ、今日伊豆節ノ土佐節ニ代ツテ、關西方面、關東方面ニマデモ鰹節ノ供給ヲシテ居ル、是ハ伊豆節ノ製造ニ依ツテ供給サレテ居ル、是ハ何所デアルカト云フト、三宅島近海カラ八丈島、及八丈ヨリ、潮流ニ依ツテ南東ニ延ビテ硫黃島附近ヘ行ク、所謂「ヤモメ」島ト云フ所マデ行クノデアリマス、所ガ漁船ノ根據地ガ無イ、偶々八丈島ヘ廻ルトカ三宅島ニ廻ツテ避難シマスガ、三宅島ノ如キハ殊ニ近海ガ惡イガ爲メニ、一昨年ノ如キモ、看

ス看ス岸ニ近ヅイタ三四艘ノ發動汽船ヲ壞シタコト
ガアルノデアリマス、ケレドモ若シモ八丈島デモ、三
宅島デモ、漁港サレ出来レバ、其所ヘ入ッテ避難ヲス
ルコトモ出来ルシ、又餌ヲ得ルコトモ出来ル、サウ云
フコトニナレバ、八丈、三宅ガ所謂水産ノ根據地トナ
ッテ、静岡縣ノ御前崎ノ船デモ、焼津ノ船デモ、神奈川
縣ノ鎌倉、三浦邊リノ船デモ、千葉縣ノ安房ノ方面ノ
船デモ、皆ナ向フヘ行ッタ切リ歸ラナイデ稼イデ居
ル、餌デモ沿岸ノ方カラ餌ノ特送船ヲ以テ送ッテ行ク
ノデ、鯉漁ノ季節ニナルト、半年モ八箇月モ其所ニ滯
留シテ居ッテ、往復スル時ニ、石油發動汽船ヲ無駄ニ
シナイヤウニ、船ヲ壞サナイヤウニ、斯様ナ事ニ心配
シテヤッテ居ルガ、其産額ニ至ッテハ私ガ先年聞イタ
ノデアリマスガ、ドウシテモ今日デハ三百万圓以上
ノ鯉ガ獲レルサウデアリマシテ、殊ニ静岡縣ノ如キ
最モ熱心デアリマシテ、百万圓位ノ産額ガアルト云
フコトデアリマス、東京ノ如キハ水産業ガ少ク、隨テ
遠洋漁業ヲスル者ガ無イガ、千葉縣ノ安房郡ノ如キ
ハ最モ盛シナ土地デアリマシテ、金華山沖邊リカラ
モ參リマスシ、福島縣ノ沿岸邊リカラモ集ッテ來ル
云フコトデアリマス、モット遠クカラモ船ガ來マセ
ウ、何レニ致シマシテモ地方ノニハ到底出來ナイ問
題デアリマス、是ハ唯ダ例ヲ引イタバケデアリマス
ガ、單リ伊豆七島ノ近海バカリデナク、矢張日本ノ沿
岸中ニハ、少シ踏出シタ所ニ相當ノ漁港ガ出來マス
レバ、ソレカラ手ヲ延バシテ、從來嘗テ漁ノ無イ所デ
モ魚ノ群ヲ發見ラシテ、其魚ノ漁獲ヲ得テ一面ニ於
テ國民ノ榮養ヲ補足シ、一面ニ於テ産業モ發展サセ
ルト云フコトニナルノデアリマス、ドウモ農商務省
ガ、唯ダ小サイ漁港ハ地方ノ事ダケデヤレト云フ
コトノ決心デハ、到底水産業ハ發達シナイト思ヒマ
ス、私ハモウ申上ゲマセスガ、篤ト御了解下サレマシ
テ、ドウゾ日本ノ水産業ノ爲メニナリマスルヤウ、モ
ウ今ハ私立日本水産會ヲ拵ヘタ時代トハ違ヒマスカ
ラ、ドウカ、今後日本ハ此水産方面ニ就テハ、世界ノ
國ト御互ニ手ヲ引合ッテ行クベキ廣キ舞臺ノ國柄
デアリマスカラ、此舞臺ニ於テ我國民ガ益々發展ス
ルヤウ、農商務大臣ハ篤ト御考慮ヲ御願シタイと思

ヒマス、先刻大臣ノ御言葉ヲ承ッタノデアリマスガ、
私ノ申シマシタ事ヲ十分御了解ニナラヌヤウデアリ
マスカラ、重ねテ申上ゲテ置キマス
○國務大臣(男爵山本達雄君) 尙ホ今ノ御要求旁々
ノ御話デアリマスガ、私ハ先程申上ゲマシタ事デ、大
體ハ盡キテ居ルト思フノデアリマシテ、決シテ其遠
洋漁業ガ今日必要デナイト云フ譯デハナイ、唯ダ餘
リ漁區ガ澤山アッテ、サウシテ避難ノ場所モ無イト云
フヤウナ、殆ド天然ノ儘デアルヤウニ是マデナッテ居
タ、ソレデ唯今同ジ一縣ニ於テモ幾個モ水面ガ跨ッテ
居ッテ、之ヲ國家ガ整理ヲヤルト云フヤウナ事ヨリ
モ、尙ホマダ先キニスベキ事ガアルノデ、成ベク其方
ヲヤッテ居ルノデアリマス、併シソレモ只今御話ノ銚
子ナラバ銚子、又九州ニ於テ馬關ナラバ馬關ト云フ
ヤウナモノニ決メテ、サウシテ大キナモノヲヤラナ
ケレバナラヌト云フ事デ、是ハ國家ガヤラネバ、其縣
ノ地方費ニ仰グト云フコトデハ仕方ガナイ、ソレハ
無論ヤラウト思ヒマスガ、今日ハマダソコマデ届イ
テ居リマセス、ガ無論サウ云フコトハ必要ナ事ト思
ヒマス、別段御要求ノ點ト私ノ御答申シタ事ガ、左程
違ッテ居ルトハ思ヒマセスガ、唯ダドチラヲ先キニス
ルカ、兩方トモヤッテ行ケルナラバ結構デスガ、サウ
ハ事情ガ許シマセスカラ、先ヅ必要ナル今日ノ焦眉
ノモノカラ先ニヤッテ、追ッスル積リデアリマス
○委員長(松本孫右衛門君) 只今ノ高木君ノ御質問
ハ、水産會法ニ直接シタ御質問ノヤウニ見エマセス
ガ、先ヅ以テ政府委員カラ水産會法提出ノ理由ヲ承
テ、ソレカラ質問ニ入りタイト思ヒマス、如何デセウ
○贊成(ト呼フ者アリ)
○委員長(松本孫右衛門君) ソレデハ政府委員カラ
提出理由ノ御説明ヲ願ヒマス
○池田猪三次君 本案ニ直接致シテハ居リマセス
ガ、大臣モ御出席デアリマスカラ、一寸簡單ニ質問シ
タイ事ガアリマスガ、宜シウゴザイマスカ
○委員長(松本孫右衛門君) ソレデハ宜シウゴザイ
マス
○池田猪三次君 ソレデハ伺ヒマス、政府ハ來年度
ニ於テ國立ノ鹹水養殖試驗場ヲ設置スル計畫ガアル

ト承ッテ居リマスガ、是ハ何箇所御置ニナリマスカ、
サウシテ其設置ノ場所ハ既ニ御調査ニナッテ分ッテ居
リマスカ
○國務大臣(男爵山本達雄君) 設置ノ場所ハ三箇所
ノ積リデアリマス、併ナガラ何所ノコト云フコトハ
マダ決ッテ居リマセス、約三箇所位ヤリタイ積リデア
リマス
○井上剛一君 一寸只今池田君ノ御尋ニナリマシタ
件ニ關シマシテデアリマスガ
○松本孫右衛門君 宜シウゴザイマス
○井上剛一君 只今池田君ノ御尋ニ對シテ大臣ノ御
答ニハ、養殖試驗所ノ場所ハ三箇所デ、其場所ハマダ
不明デアルト云フコトデアリマスガ、大體此試驗所
ヲ御設置ニナリマス場所ハ、ドウ云フ機關ヲ具備シ
タ場所ニ御置ニナル御方針デゴザイマスカ
○村上政府委員 只今ノ御尋ニ對シテ御答申上ゲマ
ス、養殖試驗所ノ今同ノ豫算ノ目的ト致シマス所ハ、
大體ヲ淡水魚族鹹水魚族ニ別ケマシテ、其中ノ淡水
魚族ヲ更ニ二ツニ分ケマシテ、冷水魚族、即チ鱒類ソ
レカラ溫水性、主トシテ鰻、鯉、其等ノ試驗ヲ致シマ
スノト、モウ一ツ鹹水魚族ト致シマシテハ、所謂海魚
デアリマシテ、第一ニヤッテ見タイト思ヒマスノハ
鯛、鰯ト云フヤウナ類ノ試驗ヲ致シテ見タイト云フ
大體ノ希望デアリマス、隨テ其等ノ養殖ニ適スル場
所ヲ擇ブ積リデアリマス
○委員長(松本孫右衛門君) 先ヅ政府委員ノ説明ヲ
聽キマス
○村上政府委員 本法ヲ提出致シマシタ理由ノ大
體、又立法ノ要旨ヲ大體申上ゲタイト存ジマス、此水
産會法ナル者ヲ制定シテ、系統的統一的水産業ニ
對スル、一種ノ自治團體的ノモノヲ造リタイト云フ
希望ハ、當業者ノ希望ト致シマシテハ、先程高木君
カラ御話ガアリマシタ通り、非常ニ長イ間ノ希望デ
アリマシテ、殊ニ其間幾多ノ請願ガ貴衆兩院ニ提出
サレマシテ、其大部分ハ其度毎ニ採擇ニナッテ居ル
デアリマス、又四十一議會ニハ特別ニ衆議院ニ於キ
マシテ、水産會統一機關設置ニ關スル建議案ガ提出
ニナリマシテ、一致デ可決ニナッテ居ル様ナ次第デア

リマス、又政府部内ニ於キマシテモ、毎年地方ノ試験所トカ水産主任官トカ云フ者ヲ集メテ、會議ヲ致シマス際ニモ、屢々其話ガ出マシテ、大正八年ノ會議ノ際ニモ是非共ヤツテ貫ヒタイト云フ希望ガ出テ居ルノデアリマス、民間ノ希望、地方廳ノ希望、是亦一致シテ居ルノデアリマス、殊ニ政府當局ト致シマシテハ、斯ノ如キ機關ガ必要デアルト認メマシタ趣旨ハ、御承知ノ通り水産業ハ先程高木サシノ御話モアリマシタ通り、國民ノ保健的食料品ノ問題カラシテ、又海外輸出品ノ問題カラシテ、非常ニ重要ナ産業デアリマス、隨テ此産業ヲ發達セシムルニハ、單ニ行政廳ノ働ノミヲ以テ十分ニ行クモノデハナイ、當業者ノ奮發、當業者ノ自覺ニ依ツテ御互ニ奮勵シ、御互ニ相戒メテ行ツテ始メテ發達スルモノデアル、ソレニハサウ云フコトノ意志ヲ決定スル機關ガ要ル、又漁業ノ事ハ割合ニ學術的技術的ニ面倒ガアリマシテ、最近ニ盛シナリ掛ケテ居リマス、機關ノ方デ申シマスルト「ジーゼル、エンジン」ノ事トカ、無線電信ノ事トカ、又漁撈ヲ經濟的ニ行ヒマスル爲メニ海洋調査ヲ致シマシテ、又漁撈ノ方法ヲ成ベク經濟的ニスル爲メニ、副漁具ヲ使ヒマシテ、又更ニ漁船ノ形體ヲドウスル、其操縱ヲドウスルト云フヤウナ問題ガ、中ニ學理的ニ又技術的ニ六ヶセイノデアリマシテ、之ヲ研究致シマス事、又更ニ製造ノ方デ申シマス、細菌學ノ學理モ知ラナケレバナラス、養殖デ申シマス、水質ノ事モ、餌料ノ事モ、化學的物理的ニ中ニ深ク研究シナケレバナラス、中ニ關係ガアリマシテ、此研究調査ト云フコトガ、中ニ重要ナ關係ヲ持ツテ居リマス、是等モ政府ニ於キマシテモ色々機關ヲ設ケテ、出來ルダケ調査ヲ致シマスガ、單ニ政府ノミニ依ラズ、民間ノ發奮ニ依ツテ、自治的ニ之ヲ研究シテ行クト云フコトモ、一面ニ於テ非常ニ必要デアリマス、殊ニ此機會ニ於テ水産業ノ大勢ニ就テ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、日本ノ周圍ノ海ニ於ケル魚族ノ將來ガドウナルカト云フコトニ就テハ、餘程考ヲ要スルコトト思ヒマス、一面ニ於テ遠洋漁業ヲ盛ンシ致シマスコトニ就テハ、出來ル限リヤツテ居ル積リデアリマス、尙ホ此上共努力ヲ致シタイト思ヒマスガ、

此近海ノ魚族、殊ニ一朝事ノ有ツタ場合ニ自給ト云フヤウナ考カラ見マシテ、近海ノ魚族ガドウ云フ成行ニナツテ居ルカト申シマス、ドウモ數年來漁獲高ガ著シク減ルト、申シマセヌケレドモ、餘リ殖エナイ、是ハ漁船ガ著シク殖エテ來マシタコト、例ヘバ發動機船ガ三千八百艘ニマデ七八年來勃興シマシタコト、「トロール」漁船ガ五十艘以上モ働イテ居ルヤウニナツタコト、又從來鯉漁業ガ先ヅ伊豆七島デ濟ンデ居ツタモノガ、小笠原マデ出ルト云フヤウナ遣方ヲシテ居ルコト、即チ漁業ニ對スル資本ナリ、又漁場ノ範圍ガ非常ニ増加擴大サレマシタ割合ニ、漁獲高ガ殖エナイノデアリマス、是等ノ事ハ日本ノ水産業ノ將來トシテハ、餘程考ヘナケレバナラス、私ハ考ヘテ居リマスガ、而シテ其等ヲ如何ニスルカト云フ手段トシテハ、矢張一面ニ於テ消極的デハアリマスガ、第一ニ漁族保護ノ問題ニ十分注意シナケレバナラス、其繁殖保護ノ手段トシテハ、種魚種介ノ發生場所ヲ保護スル爲メニ、禁止區域ヲ決定スルコト、漁器及漁撈ノ方法ニ制限ヲ設ケルト云フヤウナ、繁殖保護ノ消極手段ト共ニ、色々ノ増殖ノ手段、例ヘバ養殖トカ、人工孵化トカ、畜養トカ、種々ナ手段ガアリマスガ、其等ノ事ヲ先ヅ大ニ發達セシメナケレバナラス、即チ積極手段ト消極手段ト相俟ツテ、之ヲ維持シ、更ニ増加セシメテ行カナケレバナラス、思ヒマスガ、此仕事ヲヤリマスニ就テハ、ドウシテモ一片ノ行政官廳ノ命令若クハ指揮ヲ以テ、ソレガ爲サレルモノデハナイノデアリマシテ、ドウシテモ當業者ノ自覺發奮ニ待タナケレバナラス、其當業者ノ自覺發奮ヲ爲スベキ機會ヲ與ヘルト云フ事ニ就キマシテハ、斯ウ云フ水産會ト云フ様ナ系統の統一の機關ガアツテ、其等ノ活動ト官廳ノ働ト、又當業者諸君ノ奮發ト相待ツテヤルベキモノデアル、即チ水産會ナルモノハ一面ハ官廳ニ對シテ當業者ノ志望ヲ達成セシメ、又一面行政官廳ノ立テタ圖案ヲ當業者ニ徹底セシムルト云フ手段ニ於テ、ドウシテモ必要デアル、殊ニ御承知ノ通り海ノ事ハ、何分行政官吏ノ目ノ届カナイ所デアルカラ、其繁殖保護ノ如キモ當業者ガ相戒メテ互ニ自治的ノ監督ヲシテデモ、之ヲ遂行スルト云

フヤウナ決心ナリ、諒解ノアルモノデナケレバ、中ニ是ハ行ハレナイノデアリマス、其等ノ點ハ他ノ産業ニ比シマシテモ、特ニ斯ウ云フ組織ガ必要デアル、斯ウ考ヘタノデアリマス、隨テ今回此法案ヲ政府ト致シマシテモ、提出スル事ニナリマシタ次第デアリマス、以上ハ提出ノ理由ノ大體デアリマス、尙ホ立法ノ要旨ニ就テ極ク簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、本案ノ内容ト致シマシテ、會ノ目的ハ第一條ニモアリマシタ通り、水産業ノ發達ヲ圖ルコトヲ目的トスルノデアリマシテ、目的ハ公共的ノ範圍デ私益ヲ目的トシマセヌガ、比較的廣イ積リデアリマス、次ニ會ノ性質ト致シマシテ、是ハ色々ナ方面カラ性質ヲ論ズルノデアリマスガ、第一ニ公法人ト云フ意味ヲ以テ、此案ノ組織ヲ立テテ居ルノデアリマス、即チ水産業ニ關スル公共的ノ事務ヲ、當業者ノ製出シタ機關ガ自治的ニ之ヲヤル、其公法人トシテ、立法上此法案ガ認メラルカドウカト云フコトニ就キマシテハ、案全體ヲ御覽下サレバ分ル積リデアリマス、大審院ノ判例ニ於テ、商業會議所ヲ公法人ト判決致シテ居リマスガ、其時ニ引用シマシタ條文ト同様ナ條文ハ、寧ロ廣イ條文ガ本案ノ中ニ含ンデ居リマスカラ從來ノ判例ニ照シテモ、此法案ハ公法人ト認メラルコトト私ハ信ジテ居リマス、又是ハ申サスデモ宜シイカモ知レマセヌガ、學說ニ於キマシテモ、一番多數ヲ占メテ居リマス、公法人或ハ私法人ナルヤノ區別ニ就テ、其區別ハ法人ノ存在目的ニ依ツテ、區別スベキモノナリト云フ議論カラ致シマスレバ、無論此案ニ依ツテ成立チマスル法人ハ、學說ノ批評ヲ求メマシテモ、立派ニ公法人ト言ヒ得ルコトト存ジテ居リマス、更ニ他ノ方面カラ見マスルト、私益團體デアリマス——更ニ郡市ノ行政區域ヲ地區トシテ組織スル郡市水産會ヲ單位ト致シマシテ、サウシテ道府縣水産會、帝國水産會ト云フ風ニ、行政廳地域ヲ原則トシ基礎トスル團體デアリマス、何故ニ行政區域ヲ基礎トスルカト申シマスルト、大體ニ於テ行政官廳ノ別働隊ノヤウナ働ヲサセタイト云フ考モアリ、又漁業權其他漁場ノ取締トカ云フヤウナコトモ、今日ノ法制ガ行政區域ニ基イテ居リマスカラ、ソレニ準ズ

ルコトガ、水産會ノ事業ヲ行フ上ニ於テモ便利デア
ルト云フコトガ一ツ、更ニ監督ノ上カラ申シマシテ
モ、行政ノ區域ニ準ズルノガ便宜デアアル、是等ノ理由
ニ依ツテ、行政區域ニ大體相當シマスル地域ノ團體ノ
組織ト致シマシタ次第デアリマス、形容ヲシテ申上
ゲルト、産業自治團體トモ申スベキモノトモ考ヘテ
居リマス、公共的の見地カラ、官廳ト當業者ノ間ニ介在
シテ仕事ヲスルト云フ趣旨デアリマス、隨テ私益ヲ
目的トスルモノデアリマセヌカラ、會員ノ總會ヲ認
メヌデ、會員ト申スノハ、郡市水産會ノ郡市會員ト申
スノデアアル、即チ總テ代議員制度ヲ採ル一種ノ自治
團體トシテ作ツタ次第デアリマス、會ノ組織ニ就キマ
シテ、單位トナルモノ、郡市水産會デアリマシテ、其
會員ハ其地域内ニ在ル漁業者、水産物製造業者、又ハ
水産物ノ取引、若クハ保管ヲ業トスル者、保管ヲ業ト
スル者ト申シタノハ、主トシテ冷蔵業者若クハ鮮魚ニ
就キマシテ、鮮魚ヲ専門ニ保管スル商人等モ是ハ少
ナイノデアリマスガ、其等ノ者ハ總テ水産ニ密接ノ
關係ヲ有ツテ居リマスカラ、入レル積リデ、保管物ト
云フ事モ入レマシタ、其他尙ホ漁業權、入漁權者ヲモ
水産ノ上ニ利害關係ヲ主ニ有ツテ居ル者デアリマス
カラ、是等ノ者ノ二分ノ一以上ノ同意ガアリマシタ
時ニハ、跡ノ三分ノ一ハ強制加入ニスルト云フコト
ノ立方ニ致シタノデアリマス、其強制加入ニ就キマ
シテモ、本案ノ立方ニ於キマシテハ、強制加入ノ結果
トシテ餘弊ノ生ズルコトヲ避ケマスル爲メニ、十三
條但書ニ特ニ大臣ノ許可ヲ受ケタル者、行政官廳ノ
許可ヲ受ケタル者ハ、加入シナイデ済ム、特別ノ事由
ガアルトキノ——左様ナ規定モ設ケテアリマスシ、
又十條ノ本文ノ中ニモ或特殊ノ業體ノ者ハ此中ニ入
ラナイデ宜シイ、極端ナル者ヲ申セバ、魚ノ販賣業者
ヤボテフリ迄モ入レル必要ハナイノミナラズ、加入
セシメテ經費ヲ負擔セシメルト云フコトハ宜シクナ
イト思ヒマスカラ、一般的ニ除外スルト云フコトハ、
命令ニ依ツテ定メルト云フ規定モ設ケテアリマシテ、
強制加入ノ餘弊ハ、ソレニ依ツテ相當省キ得ル積リデ
アリマス、次ニ會ノ數ハ是ハ精密ナ統計ガアリマセ
スカラ、確ニ申上ゲラレマセヌガ、大體ニ於テ郡市水

産會ノ會員ヲ約二千人ト見テ居リマス、次ニ會ノ種
類ハ先程申上ゲマシタ通り郡市水産會ヲ單位トシ、
更ニ府縣水産會、帝國水産會ヲ作リマシテ、何レモ行
政官廳ノ認可ガナケレバ、會ハ成立シナイト云フ様
ナ組織ニ立テマシテ、監督ヲ嚴重ニ致ス積リデアリ
マス、此案ノ中ニ特ニ他ノ立法ニ無イ點ト申シマス
ノハ、二十七條ノ在外水産會ノ問題デアリマス、海ハ
御承知ノ通り漁船ノ行動ハ自由デアリマスカラ、隨
テ此水産ノ事ハ單ニ内地ノモノ事ヲ決メラレナイ場
合ガ屢々アリマス、隨テ朝鮮總督府ノ管内、臺灣總督
府ノ管内、或ハ關東州ノ範圍ト云フヤウナ方面ニ、ソ
レノ其法域ニ於キマスル法制ニ從ツテ水産會ガ
出來タトキニハ、其水産會ハ此帝國水産會ノ會員ト
ナルコトガ出來ル、農商務大臣ノ認可ヲ經テナルコ
トガ出來ルヤウニシテ、各方面ト連絡ヲ取ルヤウニ
致シタノデアリマス、其事ハ既ニ先程モ申上ゲマシ
タ通り、毎年ノ水産主任官ノ會議ニ於キマシテモ、今
日迄非公式ニ臺灣總督府、朝鮮總督府、其他ノ技術官
モ其會議ニ參列致シマスヤウナ次第デアリマシテ、
其等ノ機關ハ甚ダ有益ニ存ジマスルガ、政府ハ斯様
ニシタイト云フノデ案ヲ立テマシタ、會ノ機關ト致
シマシテハ、會長、副會長、評議員、又總會ト云フヤウ
ナモノデアリマスコトハ、普通ノ會議體ト同ジデア
リマス、所謂代議制ト致シマシタコトハ、公法人ノ性
質上、又會員ノ數ガ二千人カラモアル上カラ致シマ
シテ、其方ガ宜カラウト云フノデ、代議制ニ致シタト
云フデケテ申上ゲテ置キマス、此會議ノ機關ノ中ニ
一ツ他ニ餘リ例ノ無イノハ、委員會制度ヲ採リマシ
テ、法律ガ認メル委員會制度ヲ作ツタ事デアリマス、
此委員會ノ制度ハ、主トシテ仲裁判斷トカ、其他爭
議ニ關スル事ヲモ掌ラシメタイト思フ、從來單ニ會
則デ定メタ委員會デアリマス、結局執行スル場合
ニ於テハ——事實上ニ於テハ兎ニ角、法律上ニ於キ
マシテハ、會長ノ處分ト云フコトニナリマスガ、仲裁
判斷、若クハ將來起リマスル爭議等ニ就キマシテモ、
判斷シマスル場合ニハ、個人タル會長ノ左右シ得ル
——少クモ法律上ニ於テ左右シ得ル外ニ、モット專門
家モ入レ、學識アル者モ入レ、技術者モ入レ、サウシ

テ多數ノ判斷ニ依ツテ、合議體ノ決定シタモノヲ其儘
實行スル、サウシテ會長ガ自由ニ出來ナイト云フコ
トノ機關ヲ設クルト云フコトハ、斯ウ云フ公法人ノ
性質トシテハ、必要デアラウト云フ考デ、法律ニ認メ
マシタ委員會ト云フ制度ヲ殊ニ立テタノデアリマ
ス、又此會ノ權限ニ就キマシテハ、建議、答申、調查報
告等ノ義務モアリマスノデ、其他事業ノ豫想等ニ就
キマシテ、會ノ性質上自ラ御分リニナルト思ヒマス
カラ、其方ノ説明ハ略シテ置キマス、此經費ノ負擔ニ
就キマシテハ、郡市水産會ニ對シマシテハ、會員カラ
經費ヲ取り立テ積リデアリマス、一人前年額五十
錢位ノ見當デ、初メテ行ツテヨクハアルマイカト思ヒ
マス、其位ニシテ或ハ少ナ過ギルト云フ御話ガアル
カモ知レマセヌガ、先ヅ其位デヤツテ行ケバ、負擔ガ
餘リ重クナク、發達ニ伴レテ漸次相當ニ増加シタラ
宜カラウト云フ考デ、計畫ヲ立テテ居リマス、而シテ
此經費徴收ニ關シマシテ特ニ申上ゲテ置キタイ事
ハ、是ハ經費ノ所謂強制徴收ノ規定ヲ置イタコトデ
アリマス、二十六條ト記憶シテ居リマス、二十六條ニ
規定シテアリマス、此經費強制徴收ト云フコトニ就
テハ、私ガ特ニ所謂ト申上ゲマシタノハ、實ハ私ハ經
費強制徴收ト云フコトガ、甚ダ可笑シイ言葉デア
ルト思ヒマス、ト申シマスノハ普通ノ私法人トスレバ、
民事訴訟法ニ依ツテ經費ノ強制執行ガ出來ルノデア
リマス、裁判所ヘ訴ヘテ出レバ、費用ト時日ヲ掛ケレ
バ矢張り強制執行ガ出來ルノデアリマス、又公法人
ニ於キマシテハ、市町村ノ例デ申シマスレバ、行政處
分ニ依ツテ強制執行ヲスルノデアリマス、何レノ手段
ニ依リマシテモ、強制徴收タルコトハ同ジナノデア
リマス、唯ダ私法上ノ強制處分ニ依ルカト云フ差ニ
過ギナイノデアリマス、然ルニ何ガ故ニ此行政處分
ニ依ル強制徴收——所謂強制徴收ト稱セラル、カ、
實ハ解シ難イト思フノデアリマス、強制執行ノ出來
ルト云フコトハ、公法人トシテモ、私法人トシテモ同
ジナノデアリマス、而シテ斯ノ如キ水産法案ノ立方
カラ申シマスルト云フト、先程カラ公法人ノ立方デ
致シテ居リマスカラ、公法人ト云フ以上ハ、其結果ト
シテドウシテモ此市町村制ノ例ニ依ルト云フ立方ヲ

取ルヨリ外ハ無イノデアリマス、御承知ノ通り大審院ノ判例ニ於キマシテハ、私法人ニシテ經費ノ取立ニ就テハ、民事訴訟法ノ適用カ出來ルガ、公法人ノ經費取立ニ就テハ出來ナイト云フコトノ判例ガアリマシテ、殆ド確定動カスベカラザル判例ニナツテ居リマス、ソレガ尤デアルト私共ハ考ヘテ居リマス、而シテ此法案ヲ公法人ト云フ立方デ立テマシタノデアリマスカラ、大審院ノ判例ニ依リマシテモ、學說ニ依リマシテモ、ドウシテモ民事訴訟法ニ依リ得ナイノデアリマス、隨テ已ムヲ得ズ行政處分、市町村ニ依ル強制執行、市町村制ノ方法ニ依ルト云フ立方ヲ致シタノデアリマス、而シテ其立テマシタコトガ、尙ホソレニ依ツテ生ズル所ノ弊ヲ防グ手段ト致シマシテ、第一ニ其經費ノ分布收入方法ニ就テ異議ノアル者ハ、異議ノ申立ガ出來ル、其異議ノ申立ニ對スル裁決ニ不服ノアル者ハ、更ニ訴願スルコトモ出來ルシ、又行政裁判所ヘ出訴スルコトモ出來ル、但シ其手續細目ハ命令規定ニ讓ツテ居リマスガ、法律ノ上ニ於テハ、二十六條ノ末項ニ其規定ヲ開キマシテ、サウシテ萬一不法ノ分布收入方法ヲ決定シタナラバ、ソレニ依ツテ爭ヘル途モ開ケテアリマスシ、又收入豫算ナリ、經費分布ノ方法ニ就テ會ガ決議ヲシテモ、ソレノミニ依ツテハ直チニ實行力ヲ生ジナイ、知事ナリ、大臣ナリノ行政官廳ノ認可ヲ經ナケレバ其效力ヲ生ジナイ、此點ニ於テモ監督ノ出來ルヤウニ致シテアリマスシ、更ニソレデモ尙ホ不都合ノアリマシタトキニハ、其不都合ノ事由ノ次第ニ依ツテハ、行政官廳ハ經費分布收入方法ノ變更命令ヲ出シ得ルト云フ所マデ監督致ス積リデアリマス、ソレハ二十八條ニ規定致シテアリマス、サウ云フヤウナ關係デ、所謂經費強制徵收ノ規定ヲ設ケマシテモ、餘弊ヲ防グ點ニ就テハ十分注意ヲ致シタ積リデアリマス、且ツ實情カラ申上ゲマスルト云フト、法律論ハ別ト致シマシテ實情カラ申上ゲマスルト云フト、郡市水產會ニ於テ、約二千人ノ會員ヲ豫想シテ居リマス、實際ヨリ以上ニ上ル考デアリマスガ、是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、僅ニ年額五十錢ト云フヤウナ費用ヲ取立テル爲メニ、時間ト費用トヲ費シテ、民事訴訟デソレヲヤツテ行クト

云フコトハ、事實ニ於テ不可能ナノデアリマス、隨テ其方カラ云ウテモ、又行政處分ニ依ル執行方法ガ必要デアッタノデアリマス、尙ホ國庫補助ト地方補助等ノ關係カラ見マシテモ、國庫補助ハ本年ノ豫算ニ僅ニ八千五百圓デアリマス、是多クノ水產會ガ年度末ニ主トシテ出來ルト云フ計畫其モノニ依ルデアリマスガ、水產會ガ豫定ノ如ク出マシタトキニハ、其定年額ハ、差當リ五百圓位ノ國庫補助ヲ出シテ行ク積リデアリマス、サウシテ主トシテ帝國水產會及府縣水產會ニ對シテ補助スル、郡市水產會ニ對シテハ、特別ノ必要アル場合ノ外國庫ヨリハ補助セシメ事ヲ原則トスル規定ニ致シテ居リマス、大體サウ云フヤウナ仕組デ組ンデ居リマス、尙ホ極ク簡單ニ一寸申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、外國ノ立法例ノ事デアリマス、一番似通ツテ居リマスノハ、英吉利ノ千八百八十八年ニ出來マシタ英國漁業委員會ト云フモノガ、郡市ノ請求ニ依ツテ商務院ノ許可ガアッタトキニハ、漁業委員會ト云フモノヲ造リ、尙ホ其聯合委員會モ出來ル、サウシテ尙ホ中央ニ全體ノ委員會ヲ造ツテ、サウシテ商務院ガ漁業ニ關スル仕事ヲスルトキニハ、重要ナル事ハ委員會ニ必ズ諮問スベシト云フ様ナ規定ヲ設ケテヤツテ居リマス、ソレト能ク似テ居リマシテ、千九百十九年ニモウ既ニ改正シテ居リマス、是等ガ極ク似テ居リマシテ、其外獨逸ノ海洋漁業協會ト云フモノガアリマシテ、是ガ系統的統一のデアリマセスカラ、少シ違ヒマスガ、併ナガラ特ニ國法ノ命令ニ依ツテ、政府ト民間ノ間ニ於テ——政府ト民間兩方ニ對シテ協力シテ立テタト云フ、此立方ハ趣意ニ於テ能ク似寄ツテ居リマス、其外亞米利加ニハ法律モ何モ無ク、自治的ニ出來テ居ルモノモアリマス、是ガ獨逸ト大體同様デアリマス、大體極ク粗末ニ申上ゲマシタガ、案ヲ立テマシタ趣旨ハ大體右申上ゲタヤウナ次第デアリマス

○委員長(松本孫右衛門君) ソレデハ通告順ニ依ツテ：：

○高木正年君 命令ガ御出來ニナツテ居ルナラバ、委員會中ニ御渡シヲ願ヒタイ

○村上政府委員 命令ニ讓ツテ居リマス事項ノ内容

ハ水產當局トシテ一應大體此通りデ宜カラウト云フ積ツタモノガアリマス、ソレカラ只今差上ゲマス

○井上剛一君 本案ハ先刻高木君ノ申サレタ如ク、時代ノ要求ヲ充タスニ晚カリシ憾ガアリマスガ、本案ノ性質ハ、一般ガ歡迎ヲスルデアラウト思フノデアリマスガ、只今大體ノ立法ノ御趣旨、竝ニ其重要ナル案件ニ就キマシテハ、御説明ニ依ツテ大ニ諒解致シタノデアリマスガ、仍テ此ノ案其ノモノヲ離レマシテ、私ガ御尋致シタイ事ガアリマス、現在ノ漁業ノ狀態ヲ見マスルノニ、遠洋漁業、又各地方ニ散在スル所ノ小サナ水產業ハ、大體ヲ通ジマシテ、其多クハ資本主ニ依ツテ經營シテ居ルデアツテ、實際漁業ニ從事シテ居ル者トシテハ、甚ダ利益ガ僅少デアルコトヲ憾トシマス、ソレハ畢竟スルニ資本ノ融通ガ出來スノデ、權利ハ有シテ居ツテモ、此小サイモノハ資本家ニ委ネテ經營シテ貰ツテ、僅カナ利益ヲ收メテ、サウシテ小サナ組合ノ經費ニ充テ、居ル事ガ、大體ノ狀況デアラウト思ヒマス、故ニ各漁業ニ從事シテ居ル者ヲ救フニハ、丁度今回借地法案ノ出マシタ如クニ、唯ダ資本主ノミヲ保護スルヤウナ現狀デハ、到底漁業ノ發達ヲ期待スル事ガ六ケシト思ヒマス、故ニ實際ニ漁業ニ從事スル資本ニ乏シキ者ハ、相當ノ方法ニ依ツテ、低利資金ノ融通ノ途ヲ開カレテアルノデアリマスガ、或ハ其途ガ無イトスルナラバ、將來ニ於テ此途ヲ開ク方法ヲ御講ジナサルノデアリマスガ、又當ニ當業者ノ申シテ居リマスノハ、此水產業即チ漁業ニ從事スル者ヲ救済スルニハ、何トシテモ水產銀行ノ如キモノヲ設立シテ、ソレニ依ツテ低利資金ヲ供給スルコトニ依ツテ始メテ是等ノ希望ヲ達スルコトガ出來ル、例ヘバ近海漁業ヲ致シマシテモ、漁具漁船等ノ設備ハ到底僅カナ資本デ出來ナイ、是ニ於テカ相當資本主ノ經營ノ下ニヤツテ居リマス、是等ヲ救済スルニ就テハ、何トシテモ資金供給ノ途ヲ開クト云フ事ノ御設備ガ、最モ焦眉ノ急務デアラウト思ヒマス、之ニ就キマシテ政府ノ御意嚮ハ、何等カノ御計畫御考慮ガアルデアラウト思ヒマスカラ、其點ヲ御伺シタイノデアリマス、ソレカラ今一ツハ先刻伺ヒマシタ此三十萬圓ノ水產養殖試驗場デアリマス、

大體此養殖ニ關シマシテ、鹹水養殖ト淡水養殖トヲ論ゼズ、國內ニ於テ最モ設備ガ完備シテ居ラレマス所ハ、大體ドノ方面デアリマセウカ、ソレヲ伺フコトガ出來レバ大變幸福ダト思ヒマス、而シテ其試驗場設置ノ場所ハ、今日ノ現狀ニ照シマシテ、御指摘ニナリマシタ中ノ孰レヲ適當ノ場所ト御認デアリマスカ、其點モ併セテ伺フコトガ出來レバ幸福デアリマス、以上ノ點ニ就キマシテ御尋ヲ致シマス

○村上政府委員 第一ノ漁業組合ハ、主トシテ資本家ガ利益ヲ受ケテ、資本家デナイ者ガ利益ヲ受ケ難イト云フ御尋ニ就キマシテハ、私共モ至極御同感デアリマシテ、漁業組合ノ性質上、決シテ資本家ノミヲ保護スベキモノデハナイノデアリマス、但シ漁業法ノ規定ノ上ニ於キマシテ、漁業者ヲ以テ組織スルト云フコトニナツテ居リマスルカラ、純然タル賃銀勞動者ヲ組合ト致スコトハ出來マセヌノデアリマス、但シ當局ト致シマシテハ、成ベク賃銀勞動者ハ、小企業家ニナルヤウニ、又小企業家トナツタ者ハ、漁業者ト云ヘレバ、成ベクソレヲ寛ク解シテ、組合員ニナレルヤウニ指導シテ貰ヒタイト云フコトハ、水産主任官ヲ集メマシタ時ニモ、又漁業組合主任者ノ講習會ヲ開キマシタ時ニモ屢々説明シテ、サウ云フ風ニ向ケタイト思ツテ骨ヲ折ツテ居ル次第デアリマス、又漁業組合ニ對シマスル資金融通ノ方法トシテ、低利資金ヲ毎年融通致シテ居リマス、此融通額モ成ベク多キヲ望ムノデアリマスガ、全體ニ制限ガアリマスノデ、マダ十分トハ參リマセスガ毎年融通スルコトニナツテ居リマス、而シテ其關係ニ於キマシテ、最後ニ御話ニナリマシタ水産金融ノ問題ニ就キマシテハ、私共モ水産當局トシテ、水産金融ノ圓滑ナル事ハ非常ニ希望致シマス、唯ダ金融ヲ圓滑ナラシムル爲メニ、水産銀行ナル特殊銀行ヲ設立スベキヤ否ヤト云フ事ニナリマスルト、是ハ大藏當局ノ答辯ヲ待ツコトニ致シタイト存ジマス、第二ノ問題トシマシテ養殖關係ニ就キマシテ、此設備ノ完全ナル方面ハ何所何所デアアルカト云フ御尋ノ様ニ承知致シマシタガ、ソレハ民間ノ意味デ御尋ニナリマシタノデアリマセウカ、或ハ政府若クハ地方廳ノ關係ノ方デ御尋ニナ

リマシタノデアリマセウカ

○井上剛一君 民間ニ於ケル經營ト、又地方廳等ニ於ケル經營モ包含シテ御尋デアリマス

○村上政府委員 養殖事業ハ只今ノ所先ヅ其緒ニ就テ居リマス者ハ、魚族ニ就テハ大體淡水魚族ニ就テデアリマシテ、鹹水魚族ニ就キマシテハ、先ヅ無イト申シテ宜イノデアリマス、淡水魚族ハ先程申シマシタ冷水魚族ト温水魚族デアリマス、第一ニ冷水魚族ニ就テ申シマス、政府ノ仕事或ハ國費ヲ以テ仕事ヲ致シテ居ル者ト致シマシテハ、北海道ノ鮭ノ人工養殖ノ事業ガ、一番好ク行ツテ居ルト申サナケレバナラスト思ヒマス、其他地方費ト致シマシテハ、冷水魚族トシマシテハ矢張青森縣デヤツテ居リマス紅鮭又十分トハ申セマセスガ、新潟縣デヤツテ居リマス鮭ノ人工養殖、又規模ハ小サウゴザイマスケレドモ比較的好ク行キ居ルノハ山形縣ニ於ケル鮭ノ人工養殖等ガ、地方費デヤツテ居ル中デ良イモノト思ヒマス民間ノ事業ト致シマシテハ、北海道ノ水産組合ガ色色ナ方面テヤツテ居リマスノガ、中ニ盛ンニナツテ居ルヤウニ承知致シテ居リマス、又東北方面ニ於キマシテハ、巖手縣ノ大槌川ノ方面トカ、福島縣ノ新田川ノ方面トカ云フ所ニ於キマシテハ、矢張組合的ノ組織ヲ以テヤツテ居ラレマス、比較的成功シテ居ル様ニ思ヒマス、個人事業トシテハ和井内ト云フ人ガ十和井田湖デ鮭ヲヤツテ居リマス、次ニ温水魚族ノ方ト致シマシテハ、是ハ國費テ大規模ニヤツテ居ルモノトシテハ先ヅアリマセス、地方費デ色々ヤツテ居リマス其地方費ノ仕事ニ對シテ、農商務省ノ試驗場講習所國庫補助法ニ依リマス補助ラシテ居リマスノガ、ボツボツアリマス、其等ノ著シイモノデ成功シマシタモノハ、琵琶湖ノ鯉鮒等ノ人工養殖又此霞ヶ浦ニ於ケル「ワカサギ」其他ノ人工養殖其外岐阜縣ノ鮎ノ人工養殖モ最近中、好クナツタヤウデアリマス、此鮎ノ人工養殖ヲヤツテ居ル所ハ其他ニモアリマス、而シテ民間ノ淡水魚族ノ養殖ヲ一番盛ンニヤツテ居リマス所ハ、矢張静岡縣、愛知縣殊ニ濱名湖ノ周圍ト、渥美灣ノ周圍ガ一番盛ンノ様ニ思ヒマス、而シテ先程申上ゲマシタ今度水産講習所ノ養殖試驗部ノ擴張ト

シテ、各地方ニ於ケル分場ノ設置場所ニ就キマシテハ大體基礎ヲ技術上ノ見地ニ置イテ、養殖試驗ニ最モ適當ナ所ヲ撰擇シナケレバナラスノデアリマシテ、ソレニモ色々條件ガアリマス、又技術的見地ノ撰擇方ノ外ニ、尙ホ經濟上ナリ、殊ニ其等ノ事ガ、實施シ得ベキ方面ヲ必要トスルト云フヤウナ事情モアリマシテ、其等ニ種々ナル事情ヲ綜合シテ、豫算ノ確定シマシタ上ニ於テハ、實地調査ヲシテ選擇致シタイト思ツテ居リマス

○委員長(松本孫右衛門君) 次ハ磯貝君

○磯貝君 私人二御同致シタイ、大體ニ於テ本案ハ、多年水産業者ガ熱望ヲ致シテ居リマシタノデアリマスカラ、至極之ニ對シテハ自分モ賛意ヲ表スル者デアリマスガ、併ナガラ水産業ト申セバ總括的ニ申ス事デアツテ、是ハ或ハ工藝等ニモ關係ヲ有シ、又食料ノ上ニハ勿論、肥料其他萬般ニ非常ナ關係ヲ有ツテ居リマス、本案ヲ見マス、大體ニ於テ水産業ヲ保護獎勵スル意味ニ於テ、至極適當ナルモノデアルト思ヒマスガ、併ナガラ所謂個人——漁業ニ從事スル所ノ個人ニ一朝災害ノアツタ場合ニ、之ヲ救助スルト云フ方法ガ、ドウシテモ之ニ伴ツテ來ネバナラスモノデアラウト思ヒマス、是ハ社會政策ノ上ニ於テモ、大ニ攻究スベキ問題デナケレバナラスト思フ、現ニ大正七年度デアリマシタカ、彼ノ米價騰貴ノ折ニ、全國ニ於テ一番騷擾ノ魁ヲシタ者ハ、確ニ漁民ノ叫デアラウト思フノデアリマス、此一團ガ富山縣ニ於テ大ニ米價騰貴ヲ叫ンダト云フコトカラ、遂ニ非常ナ騷擾ヲ惹起シタ端緒ニナツタヤウニ存ジマスガ、斯ノ如ク一朝災難ノ起ツタ場合ニハ、農民ナリ其他ノ場合ニ於テハ、ソレハ「救済」ノ方法ガ立ツテ居ル、或ハ資金ノ上ニ於テモ井上君カラモ御質問ガアリマシタガ、低利資金ノ方法モアル様デアリマスガ、漁民ニ對シテハ一朝災難ノアツタ場合ニハ、ソレガ缺ケテ居ルト思ヒマスガ、之ニ對シテ政府ハドウ云フ考ヲ持ツテ御在デニナリマスガ、之ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ此法案ヲ實施ニナルト、是迄水産組合ト云フ者ト漁業組合ト云フモノガアツテ、孰レモ其組織ニ依ツテ總テノ事ヲ處決致シテ居リマシタ

ガ、從前ノ漁業組合ト水産組合ト云フモノハ、全ク其性質ニ於テハ違ッテ居ルベキデアアルニ拘ラズ、事實ハ全ク同一ノ事ヲヤツテ居ル、組合員ト云ヒ、或ハ組合ヲ支配スル者モ同一デ、全ク同一ノ仕事ヲスルモノガ、二様ノ名義ニ依ッテ成立ッテ居ルガ故ニ、唯ダ迷惑スル者ハ漁民デアッテ、二重ノ費用ヲ負擔シテ居リマスト同時ニ、非常ナ錯雜ナ面倒ヲ常ニ受クテ居ッテ、何等效果ヲ見ル事ガ出來ナイ憾ガアルノデアリマス、固ヨリ漁業組合ト云フモノハ、漁業ニ從事スル者ノミニ依ッテ組織サレルモノデアリマスカラ、今回ニ於テモ此水産組合中ニ、ドウシテモ理窟ノ上カラハ漁業組合ト云フモノガ必要デアルト思ヒマスガ、事實ニ於テハ矢張之ニ總括サレテ、其中ニ組入レラレテシマウコトニナルカト思フ、之ヲ施行ナサレ上ニ於テハ、水産組合ト云フモノハ、全然此明文ニモアル通り、之ヲ包括サレルコトニナリマスガ、漁業組合ノ方ハ、今後ハドウ云フ風ニ御扱ニナル御考デスカ、之ヲ承リタイ

○村上政府委員 漁村ニ於ケル個人ノ地位ノ改善ト云フ御尋ニ就キマシテハ、無論相當ノ注意努力ヲ致シテ居ル積リデアリマス、殊ニ御承知ノ通り漁村ニ於キマシテハ、或ル程度ニ於テハ事業ノ性質上ト思ヒマスガ、所謂歩合制度——今日ノ外國ニ直譯的ニ申セバ、所得分配ト云フ様ナ制度ガ比較的能ク行ハレテ居リマスノデ、是等ヲ一層完全ニシ、能ク指導シテ行ク事ガ、此改善ノ上ニ最モ捷徑ト考ヘテ居リマス、又是等ヲ指導シテ行ク方法トシテハ、一面ニ於テ此水産會法案ヲ提出シマシタノモ、一ハ其等ノ事業ヲヤラセタイ、例ヘバ共濟ノ仕事ヲスルヤウナトキニモ水産會ノ斡旋デヤラセル、雇傭關係ノ改善ニ就テモ努力サセル、或ハ其間ニ爭議ノアツタ場合ニハ先程モ申シタ委員會制度等ニ依ッテ權威アル裁決ヲシテ圓滿ナ解決ヲ付ケテ行キタイ、サウシテ思想ヲ激セシムルヤウナ事ハ、成ベク避ケサセタイト云フ様ナ方ノ仕事ヲサシテ行キタイ積リデアリマス、本案ヲ提出シマシタノモ、其等ヲヤラセタイ一ツノ理由デアリマス、又漁業組合ノ關係ニ就テハ、御話ノ點ハ當局ノ見ル所ト多少違ッテ居ルカト思ヒマス、ト云

フノハ漁業組合ハ地域カラ申セバ、町村以下ノ部落的デアリマスシ、又出來マシタ趣旨ガ抑々漁業權ノ主體タラシムル爲メニ、又漁村維持ノ爲メニ、漁業者ノミヲ以テ造ラセタ團體デアリマスカラ、此水産會トハ性質ガマルデ違ヒマス、成程水産會員トシテ漁業者ヲ加入セシメマスレバ、漁業組合員タル漁業者モ、又水産會員タル漁業者モ、一致スル場合ハ無論アリ得ルノデアリマスガ、今ノヤウナ地域ノ程度ガ違ヒマス、設立ノ趣旨モマルデ違ヒマスカラ、隨テ其爲メニ二重ノ費用ヲ負擔スルト云フ結果ニ陷ルモノデハナイト考ヘテ居リマス

○磯貝浩君 只今ノ御説明ニ依リマス、成程漁業組合ト云フモノト、水産組合トハ性質ハ違ッテ居リマスガ、事實ニ於テハ矢張漁業者其者ハ此中ニ包含サレルノデアリマスカラ、實際ニ於テ個人ニ取ツテハ、矢張同一ノ支配ヲ受ケルコトニナルノデアリマスカラ、寧ろ漁業ト云フ中ニモ、此漁業組合ト云フモノハ各々專業ニナッテ居リマスカラ、其專業ニ就テ一ツノ組合ヲ組織スルナラバ、其組合ノ效能ヲ現ハスコトガ出來ルヤウデアリマスガ、今日ノ仕組デハ、漁業者一體ガ一ツノ漁業組合ニナルノデアアル、ソレハ單位ガ町村ナラ町村ト云フ事ニナリマスルケレドモ、ソレハ決シテ町村ト云フ譯ニハ實際ニハ行カナイ、或ハ數町村ニ跨ルモノモ澤山アルノデアリマスカラ是等ハドウシテモ若シ之ヲ施行サレルナラバ、漁業組合法ト云フモノヲ一ツ改正サレテ、其漁業組合ナルモノハ、專屬漁業ニ對スル組合ヲ作ル事ニナラヌデハ、全ク當業者ハ二重ノ負擔ヲ受ケテ、煩雜ニ苦メラレルト云フコトニナルト思フノデアリマス、尙ホ一ツ能ク御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ本案ニ對シマシテ、所謂本案ノ姉妹法案トデモ申シマスガ、將來ハドウシテモ魚市場法案ト云フモノヲ、御制定ニナルベキ時期ガ來ナケレバナラスト思フ、是ハ既ニ鑒ニ農商務省ニ於カレテ、生産調査會ノ組織ガアツタヤウニ思ヒマスガ、此場合ニモ大ニ研究サレタコトト思ヒマスガ、此魚市場法ナルモノニ對スル當局ノ御意見ハドウデアラウカ、之ヲ承ッテ置キタイ

○村上政府委員 只今ノ御尋ノ前段ニ就キマシテハ一應申上ゲマシタガ、唯ダ簡單ニ今一度申上ゲマス、漁業組合ハ、原則ガ漁業權ヲ享有スベキ主體トシテ作ラレタノデ、其漁業權ガ又各々各種ノ——其漁業權ノ範圍デ、各種ノ漁業ニ季節毎ニ從事スルノデアリマスカラ、專屬ノ漁業ヲ以テ作ルト云フコトハ、事實困難デアルト思ヒマス、併ナガラ現在漁業組合ニ弊ガ無イトハ申シマセス、組合員ノ取捨ノ仕方ガ惡カッタ爲メニ、御話ノヤウナ二重加入ト云フヤウナ弊ノアル場合ガナイトハ申サレマセスカラ、ソレハ整理等ニ就テ篤ト注意致シマシテ、成ベクサウ云フ弊ハ避ケルヤウニ致シマス、尙ホ魚市場ニ就キマシテハ、御話ノヤウナ說モアツタコトハアリマスガ、魚市場ニ就テハ長ク研究シテ居リマス、殊ニ最近ニ於テ中央市場ノ問題、若クハ公設市場ノ問題等ガ一層複雑シテ、單ニ魚市場法案ノミヲ出スベキカ、又魚市場ノミトシテ、ドレ程ノ特色ガアルカト云フコトニ就テハ篤ト攻究ヲ要スルノデ、引續キ攻究ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○磯貝浩君 先刻御尋致シタ中ノ事デ、マダ御答辯ヲ得ナカッタト思ヒマスガ、所謂漁民ノ災害ニ遭フタ場合ニ對スル救助ト云フ事ニ對シテ、御考ノ御答辯ヲ伺ヒタイ

○村上政府委員 遭難救恤ノ主體トシテハ、各漁業組合ノ獎勵事項ノ一ツニモ現レテ居リマス、又遭難救恤ノ制度ガ發達シテ居ルト云フ故ヲ以テ、優良組合トシテ表彰シタ次第モアリマスカラ、遭難救恤ニ就テハ、今迄ハ組合ガ主トシテ努メテ居リマス、今後モ尙ホソレヲ努メマスガ、又此水産會ガ成立シマスレバ、其濟手段ニ依ッテ、其等モ遺憾ナク行ハレル次第デアルト考ヘテ居リマス

○磯貝浩君 只今ノ御答ハソレハ所謂集合團體トシテ、若クハ遠洋ナリ各地方ニ於テ漁業ニ出漁シタ者ガ、一朝遭難ノアツタ時ニ對スル御處置ノヤウニ存ズルノデアリマス、私ガ間ハント欲スル所ハ、所謂漁村一帯ニ對シテ、或ハ非常ナル不漁ニ遭フ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテ、漁民ト云フモノハ農民トハ違ヒマシテ、平生ニ何等貯ノ餘裕ヲ持ツ事ガ事實ニ於テ出來ナイノデアリマスカラ、是等ガ若シ不漁等ニ際シ

テ非常ナル困難ニ陥ツ場合ハ、何トガ之ニ對シテ政府ニ於テ、相當ナ處置ヲ平生ニ執ラレル所謂法律ト云フモノガ無イコトハ、事實ニ於テ之ヲ救済スルコトガ出來ナイト思フ、地方ノ有志或ハ其他ノ者ガ、唯ダ德義上ニ於テスル救済ヲ目的トスベキデハナイト思フノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ對スル事ハ如何ナル御考デアルカ、農民デアリマスレバ、或ハ罹災基金トカ其他救済方法ガアル、農工銀行等モアル、色色ノ方法ガアリマスガ、漁民ニハ其點ガ缺ケテ居ルト思フ、之ニ對スル御考ヲ承ツテ置キタイ

○村上政府委員 私ガ共濟組合ト申上ゲタノハ、其等ノ事情ガ大體ニ於テ皆ナ含ンデ居ル積リデ申上ゲタノデス、言葉ガ足ラナカッタカモ存ジマセヌガ、私ハ一體サウ云フ場合ニ於ケル處置トシテハ、本來共同のニ自助のニ、相互救助ノ方法ニ依ッテヤルコトガ第一ニ必要ト思ヒマス、ソレガ假令出漁シタ者ノ遭難デアレ、又遭難扶助デアレ、又燒津邊リデヤツテ居リマス様ナ、兵役ノ爲メニ留守ノ者ガ困ル場合ノ扶助デアレ、又不漁ノ際ニ於ケル扶助デアレ、總テ共濟的ニヤルベキ事ヲ第一ニヤルベキデアツテ、次ニ恩惠的ノ手段ニ依ルベキモノデアルト考ヘテ居リマス、言葉ガ足ラナカッタカモ存ジマセヌガ、私ハ第一ニサウ云フ事ニ努力シタイ、ソレニ對シテハ組合ナリ又此水產會ガ果シテ出來マスレバ、其等ニ依ッテヤリタイ、ソレデヤツテ尙ホ救助組合ヲ作ル必要ガアレバ、其等ニ就テモ努力シタイト思ヒマス、私ガ先程申上ゲマシタ通り、水產業者ノ間ニ歩合制度ガアリ、殊ニ水商ニ依ッテ分配ヲシ、其分配ヲ積上ゲテ置クト云フ制度モアリマスカラ、先ヅ是等ノ制度ニ出來ル限リ依ルベキデアアル、其方ガ亦思想ノ健全ト云フ上ニ於テモ一層宜シクハナイカト、其等ヲ第一ニ申シタイト云フ積リデ申上ゲタノデアリマス、併シ決シテ罹災救助基金ノヤウナ問題ヲ疎カニスル趣旨デハアリマセヌ、已ムヲ得ナケレバヤラナケレバナラヌガ、努ムベキハ先ヅ自助的ノ制度ニ在ルト考ヘマス

○小池仁郎君 段々御質問ガアリマシテ諒解致シマシタガ、尙ホ附加ヘテ御伺シテ見タイノデアリマス、一ツハ遠洋漁業ト漁港ノ關係デアリマス、先程大臣

ハ漁港ノ方ハ現在ノ方針デアル者ニ國庫ガ補助ヲスル、斯ウ云フ事デヤツテ居ルノデアルト云フ事デアリマシタガ、一面ニハ遠洋漁業ハ極力御獎勵ニナル、今其遠洋漁業トシテ出漁シテ居リマス方面ハ、ドノ方面ニ一番多イノデアリマセウカ、又其遠洋漁業者ガ遠洋ニ出漁スル準備ハ、ドノ方面ニ最モ多ク準備ヲ整ヘルノデアアルカ、ソレニ漁獲サレタ物ハ、ドノ方面ガ一番多ク處理セラル、カト云フ様ナ關係ガ御調ニナツテ居リマセウカ、ソレヲ伺ヒタイ、一面ニ遠洋漁業ヲ極力獎勵致シマスレバ、其遠洋漁業船ノ集散スル地點ニハ、完全ナル漁港ノ設備ト云フモノハナケレバナラナイ、遠洋漁業ト漁港ト云フ者ハ、相俟ッテ相當ノ效果ヲ收メルモノデアルト斯様ニ考ヘテ居リマス、其等ニ就テノ當局者ノ御考ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス、ソレカラモウ一ツ水產業者ニ對スル金融ノ事デゴザイマスガ、只今ノ御答ニ依レバ、大藏大臣デナケレバ明確ナル御答ガ出來ナイ、尤ナ事デアリマスケレドモ、今大藏當局者ノ御意見ヲ聽ク前ニ、農商務省ノ水產當局トシテ、水產業ニ對スル金融ノ途ハ、ドウ云フコトニスル方ガ一番有利デアル、最善ノ方法デアアル、若シ水產銀行ト云フ特殊ノ金融機關ヲ作ルコトガ出來ナイナラバ、其特殊機關ノ出來ルマデハドウ云フ方法ニスル方ガ、水產業發達ノ助ニナルカ、此點ニ就テ當局者ノ考ヲ承リタイノデアリマス、先ヅ此二點ヲ御尋シテ、ソレカラ後本條ニ入ッテ見タイト思ヒマス

○村上政府委員 只今ノ第一ノ御尋ハ非常ニ廣イ御尋デアリマシテ、即チ何方ノ方ノ遠洋漁業ガ盛ンニ行ハレテ居ルカト云フコトヲ申上ゲルト非常ニ長ク申上ゲナケレバナリマセヌガ、若シ最近ノ一兩年間ニヤリマシタ、開發手段ナリ方法ナリヲ申上ゲテ宜シケレバ、ソレヲ申上ゲヤウト思ヒマス

○小池仁郎君 宜シウゴザイマス

○村上政府委員 先ヅ日本ノ北ノ方カラ申上ゲマス、御承知ノ通り露領ニ於ケル出稼漁業ト申スカ、所謂日露協約ニ依ル漁區ノ制度ニ依ッテ、鮭、鱒、蟹、ノ漁業ヲ致シテ居ルガ、是等ハ日露協約前カラ個人ガ盛ンニ行キマシタ其結果ガ、段々結ボレテ盛ンニ

ナツタノデアリマシテ、ソレニ對シテ多少ノ援助ハ致シテ居リマシタガ、其發達ノ主タル力ハ、當業者ニ在ルト私ハ考ヘテ居リマスガ、併シ其等ヲ一層指導致シマスル手段トシテ、大正八年ニ於キマシテハ、農商務省所屬船ノ速島丸ヲ向ケマシテ、沿海州方面カラ韃靼海峽ノ南部、竝ニ北海道ノ各地ニ就テ、「トロール」漁場ノ調査モ一應致シマシタ、ソレハ「トロール」漁業ヲ開發スルト云フヨリハ、ドウ云フ魚族ガ居ッテドウ云フ漁業ヲ發達セシムルカト云フコトヲ、比較的短期ノ間ニ調査スルニハ、「トロール」網ヲ曳イテ見ルコトガ手取早イノデ、サウ云フ趣旨デヤツタノデアリマス、又其以外ニ水產講習所ノ練習船雲鷹丸ヲ生徒ノ練習ヲヤル旁々出發セシメテ、矢張沿海州ノ方カラ段々「ジャンタルスキー」群島カラ「オコク」海方面ニ練習ノ妨ニナラナイヤウニ調査致サセマシタ、又大正九年ニ於キマシテハ、尼港事件ノ突發ニ伴ヒマシテ、薩哈噠ノ假占領ガアリマシタニ就キマシテ、軍司令官ノ名ノ下ニ於テ漁業管理ヲ致シマシタ、其時ニ同地ノ調査ヲ致シテ黑龍江ノ下流、即チ「マゴ」以南ノ海岸區ノ調査ヲ致シマシタ、此露領水產組合ノ所屬船鵬丸ヲ委託致シマシテ、此方ニ勤メテ居リマス水產技師ガ、「インペラトラスカヤ」邊リニ在ル蟹漁區ノ調査ヲ致シマシタ、是等ハソレハ、相當材料ヲ得タ中ニハ、見込達デアツテ、到底出來ナイト云フ材料モ得タ、即チ「ジャンタルスキー」邊ニハ、海圖ニモ碌々ナイ暗礁ガアツタリ、潮流トカ若クハ雲霧ノ關係ガ激シイ爲メニ、殆ド漁業ガ六ヶシイト云フ所モアリマス、併シ又一面ニ於テ蟹ノ漁場ノ調査ノ如キハ割合ニ效果ヲ得マシテ、現ニ大正九年ノ露國ニ對スル蟹漁區ノ開設ノ出願ガ、僅カニ三箇所ニ過ギナカッタガ、其調査ヲ當業者ニ知ラシタ結果、大正十年ニ於キマシテ、其調査ノ結果トシテ約二十箇所ノ出願ヲ見ルニ至ッタト云フ如キ、效果モ得タヤウナ譯デアリマス、尙ホ其方面ニ於ケル最近ノ調査ト致シマシテハ、本年一月四日東京灣ヲ出發シ、昨日歸ツテ來タ所ノ農商務省所屬ノ得撫丸ヲシテ、最モ寒イ時季ニ於ケル沿海州方面ノ漁業ヲ調査致サセマシテ下ノ關ヨリ元山、浦潮、ソレカラ沿海州ノ沿岸ヲ調査

ナツタノデアリマシテ、ソレニ對シテ多少ノ援助ハ致シテ居リマシタガ、其發達ノ主タル力ハ、當業者ニ在ルト私ハ考ヘテ居リマスガ、併シ其等ヲ一層指導致シマスル手段トシテ、大正八年ニ於キマシテハ、農商務省所屬船ノ速島丸ヲ向ケマシテ、沿海州方面カラ韃靼海峽ノ南部、竝ニ北海道ノ各地ニ就テ、「トロール」漁場ノ調査モ一應致シマシタ、ソレハ「トロール」漁業ヲ開發スルト云フヨリハ、ドウ云フ魚族ガ居ッテドウ云フ漁業ヲ發達セシムルカト云フコトヲ、比較的短期ノ間ニ調査スルニハ、「トロール」網ヲ曳イテ見ルコトガ手取早イノデ、サウ云フ趣旨デヤツタノデアリマス、又其以外ニ水產講習所ノ練習船雲鷹丸ヲ生徒ノ練習ヲヤル旁々出發セシメテ、矢張沿海州ノ方カラ段々「ジャンタルスキー」群島カラ「オコク」海方面ニ練習ノ妨ニナラナイヤウニ調査致サセマシタ、又大正九年ニ於キマシテハ、尼港事件ノ突發ニ伴ヒマシテ、薩哈噠ノ假占領ガアリマシタニ就キマシテ、軍司令官ノ名ノ下ニ於テ漁業管理ヲ致シマシタ、其時ニ同地ノ調査ヲ致シテ黑龍江ノ下流、即チ「マゴ」以南ノ海岸區ノ調査ヲ致シマシタ、此露領水產組合ノ所屬船鵬丸ヲ委託致シマシテ、此方ニ勤メテ居リマス水產技師ガ、「インペラトラスカヤ」邊リニ在ル蟹漁區ノ調査ヲ致シマシタ、是等ハソレハ、相當材料ヲ得タ中ニハ、見込達デアツテ、到底出來ナイト云フ材料モ得タ、即チ「ジャンタルスキー」邊ニハ、海圖ニモ碌々ナイ暗礁ガアツタリ、潮流トカ若クハ雲霧ノ關係ガ激シイ爲メニ、殆ド漁業ガ六ヶシイト云フ所モアリマス、併シ又一面ニ於テ蟹ノ漁場ノ調査ノ如キハ割合ニ效果ヲ得マシテ、現ニ大正九年ノ露國ニ對スル蟹漁區ノ開設ノ出願ガ、僅カニ三箇所ニ過ギナカッタガ、其調査ヲ當業者ニ知ラシタ結果、大正十年ニ於キマシテ、其調査ノ結果トシテ約二十箇所ノ出願ヲ見ルニ至ッタト云フ如キ、效果モ得タヤウナ譯デアリマス、尙ホ其方面ニ於ケル最近ノ調査ト致シマシテハ、本年一月四日東京灣ヲ出發シ、昨日歸ツテ來タ所ノ農商務省所屬ノ得撫丸ヲシテ、最モ寒イ時季ニ於ケル沿海州方面ノ漁業ヲ調査致サセマシテ下ノ關ヨリ元山、浦潮、ソレカラ沿海州ノ沿岸ヲ調査

シテ、インペラトラスカヤニ向ヒ、樺太ノ眞岡ノ對岸等ニ於ケル結氷狀態ト同時ニ、漁業ノ可能ナルヤ否ヤト云フコトヲ調ベマシタ所ガ、漁獲シタ數量ハ僅カデアリマスガ、鯡ノ非常ニ良シイモノ、又鱈ノ非常ニ良シイモノヲ持ッテ歸リマシテ、既ニ昨日私ハ其標本ヲ見タノデアリマスガ、案外立派ナモノガ取レタ、又日本人ノ體力ヲ以テ、此酷寒期ニモ大體可能ナルコトヲ認メタ次第デアリマシテ、何レ各方面ニシテ移牒シテ、其方ノ開發モ致シタイト思ッテ居リマス、尙ホ北ノ方ニ就キマシテハ、益々今日ノ時勢開發シナケレバナラヌカラ、東西勘察加ノ方面ニ於テモ、本年或ハ計畫ヲシタイト思ッテ、目下其調査中デアリマス、尙ホ獵虎、臘腸臍ノ問題ニ就キマシテモ、御承知ノ通り大正十四年度ニ於テ、例ノ四國條約ガ切レルノデアリマスカラ、白令海峽ニ於ケル漁場ヲ調査スルコトガ必要デアリマスカラ、本年豫算五十五萬圓ノ豫算ヲ以テ、三百噸ノ調査船ヲ造ルコトヲ要求シテ居リマス、是レガ出來マシタナラバ相當ノ活動ガ出來ヤウト思ヒマス、尙ホ日本ノ近海ト申ス方面カラ申セバ、小笠原方面、又大東島、琉球方面、若クハ薩摩大島ノ方面等ニ就キマシテハ補助金ヲ出シタリ又直接農商務省ノ所屬船ヲ出シタリ、色々調ベテ居リマス、又極ク東京近海ト致シマシテハ、從來浮物ガ盛ンデアリマスケレドモ、浮物、例ヘバ鮎、鯉、秋刀魚ト云フヤウナモノ、漁獲ガ盛ンデアリマシテ、底物ノ漁獲ガ餘リ不十分デアリマスカラ、其等モ改良スル爲メニ現ニ今日モ農商務省所屬船ト、ソレカラ又大島水産組合ノ船ト、又千葉縣ノ船ガ出テ居リマス、遠ク南方新領土方面ニ對シテハ、昨年夏水産講習所ノ練習船雲鷹丸ヲ出シマシテ、生徒ノ練習旁々南洋方面ヲ一周調ベサセマシタ、併シ是ハ距離ガ餘リ遠クアルノト、生徒ノ練習旁々ノ上ニ、又機關ノ故障カラ、石炭ガ十分ニ行カナカッタカ、種々ノ事ガアリマシタノデ、十分ナ事ハ分リマセヌガ、併シ船内ニ罐詰工場ヲ設備シテ參リマシタカラ、獲リマシタ鮎ハ悉ク脂詰ニスルト云フ試驗ヲシテ、相當ナ效果ヲ舉ゲマシタ、尙ホ一二回調査ヲシテ、魚群ガ相當ニ厚イト云フコトガ分リマシタナラバ、民間ニ移シタイト

考ヘテ居リマス、極ク大摺ミデアリマスガ、各方面ニ對シテヤッテ居リマス、尙ホ此出漁ノ方面等ニ就キマシテモ、新嘉坡方面ト、伯刺西爾方面等ニ對シテ調査ノ歩ヲ進メテ居リマス、新嘉坡ノ方ハ既ニ其緒ニ著イテ居ルノデアリマス、伯刺西爾ノ方ハ果シテ出來ルカドウカ、現ニ出シテ居リマス技師ノ復命ニ依ッテ計畫ヲ定メタイト思ッテ居リマス、次ニ此遠洋漁業ト漁港ノ關係ニ就テハ御話ノ通りデアリマシテ、ドウシテモ此遠洋漁業ヲ發達サセマスル上ニ就テハ、第一ニ遠クヘ行カナケレバナラヌ、隨テ船ガ大キナケレバナラヌ、又人道上カラ言ヒマシテモ、漁夫ノ生命ノ安全ヲ出來ル限リ期サナケレバナラヌ、ソレニハ漁船ヲ大キクシテ、安全ニシナケレバナラヌ、吃水ノ深イ者モ出來ルカラ、隨テ濱方ニ引揚ゲラレナイ漁港ハイカヌ、又出漁シマス際ニモ、網トカ其他總テノ材料ヲ用意シマスルニ就テモ、又歸ッテ來テ製品ヲ處理スルニモ、船ヲ修繕スルニモ、總テノ關係ニ就テ漁港ト云フモノハ、非常ニ必要ガアルノデアリマスカラ、吾々當局トシテモ出來ル限リ早く、サウシテ成ベク各方面ニヤリタイト思ッテ努力致シテ居ル様ナ次第デアリマス、次ニ水産金融ノ方法ニ就キマシテハ、色々ノ方法ガアラウト思ヒマス、サウシテ私ノ考トシテ露骨ニ申シマスレバ、第一ニ考フベキ事ハ、水産業者自身大ニ亦奮發スベキ餘地ガ餘程アルト思ヒマス、又制度ノ上ニ於テモ、現在ノ制度ガ決シテ十分トハ思ヒマセヌ、又吾々當局トシテモ、制度ノ改善スベキモノガアルト思ヒマス、例ヘバ漁船ノ檢査ノ如キデアリマス、先程御話モ出マシタノデアリマスルガ、二十噸以上ノ船舶デナケレバ、登記登錄ガ出來ナイト云フヤウナ狀態デハ、擔保ニモ甚ダ不便ヲ感ズルト云フヤウナコトモアリマスシ、又此擔保ノ目的トナルベキ漁業權ノ事ニ就キマシテモ、今日ノ制度ハ十分トハ思ヒマセヌ、例ヘバ沿岸漁業等ニ就キマシテモ、尙ホ考フベキ問題ハ多イト思ヒマスカラ、其等ニ就テハ十分努力スル積リデアリマス、併ナガラソレノミヲ以テ然ラバ自然ニ圓滑ニナルカト云ヘバ矢張サウハ行カナイ、一面吾々ノ努ムベキ所モ多イ

ノデアリマス、併シ一面資金ヲ十分ニ融通スルト云フコトニ就テハ、差當リ低利資金ニ就テモ努力シテ居ルノデアリマスガ、尙ホ進ンデモット大キナ金融ノ途ヲ立テルコトニ就テハ、出來ル限リ努力致シタイト考ヘテ居リマス、相俟ッテ進ンデ行カナケレバナラスト思ッテ居リマス、唯ダ水産銀行ナル特殊銀行ヲ立テル必要アリヤ否ヤト云フコトニ就テハ、水産當局トシテモ此點ハ尙ホ研究ヲ要スルト思ヒマス、漁業ノ基礎ガ確立シ、サウシテ例ヘバ「トロー」漁業ノ如ク、豐凶ノ極メテ少イト云フヤウニ漁法ガ發達シテ行キマスレバ、必シモ特殊銀行ガナクテモ行クカモ知レマセヌ、サラバト云ッテ現在ノ普通銀行ハ、金ヲ貸ス上ニ於テモ、漁業ノ知識ガ不十分デアル、水産業ハ非常ナ冒險事業デアルカノ如ク多ク誤解サレテ居ル、是ハ外國ノ銀行業者等ノ態度等カラ考ヘマスルト、水産ノ知識ニ對シテ餘リニ幼稚デアルガ爲メニ、金融ノ不圓滑ヲ來サウナ事情モアルヤウニ思ヒマスカラ、其等ハ又改善シナケレバナラスト思ヒマス、大體サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○小池仁郎君 段々有益ナ御説明ヲ伺ヒマシテ感謝致シマス、前段ノ遠洋漁業ト漁港トノ關係ハ、必要ヲ御認ニナッテ居ルトシマスレバ、少シ具體的ニ御尋シテ見タイト思フノデアリマス、段々只今マデノ經過ニ依ッテ、此遠洋漁業ノ主ナル部分ヲ推測スル事ガ出來ルノデアリマス、必シモ之ヲ漁港ナリトシテ、一カヲ十マデ新規ノ設備ハナクテモ、現在ニアル一部分ヲ所謂漁港トシテ設立セシムルト云フ、當局者ニ意思ガアルカ、若クハ其適當ナルト認メル地點ヲ選ンデ、其地元ヲシテ發動セシメテ、之ニ補助ヲ加ヘテ、所謂補助獎勵ヲシテ、サウ云フ設備ヲセシムルト云フヤウナ具體的ノ御考察ガアリマスカ、此點ヲ伺ヒタイ、ソレカラ水産金融ニ就テ只今續々御説明ガアリマシタガ、極メテ要領ヲ得ナイト私ハ感ジテ居ルノデアリマス、如何ニモ御努力ノアリマスコトハ承知致シマスガ、水産銀行設立ニ就テ特殊機關ノ設立ニ就テハ、尙ホ研究シナケレバナラスト云フ仰ガアル、又外國ノ例ニ依ッテ銀行等ガ水産業ニ放資スル點ニ就テハ、相當ノ經驗ガ既ニ今日マデアアルノデアリ

マシテ、其等ノ事柄ヲ以テ、我國ニ於テハ漁業ハ危險ナ者デアルトシテ、放資スル人ガ之ヲ躊躇スルト云フ傾ガアルノデアリマスカラ、或ハ保險業者ヲシテ此水産業ニ對シテ、保險業務ヲ開始セシムルトカ、若クハ只今ノ漁船ニ對シテ保險ノ方法ヲ立テ、之ニ依ッテ金融ノ途ヲ圖ルトカ、何等カモウ少シ具體的ニ「特殊ノ機關ガ出來ルマデ」ノ間、何等カ具體的ノ御研究ガアリマスルカ、此點ヲ重ネテ御尋致シマス

○村上政府委員 前段ノ御尋ノ漁港ノ修築ニ就テ、具體的ノ考察ガアルカト云フ御尋ニ對シテハ、私ノ申上ゲル事ガ或ハ質問ノ要旨ニ外レルカモ知レマセヌガ、併シ實ハ漁港修築ニ對シテ必要ヲ認メルト云フコトニ就テハ、私ハ無論必要ヲ非常ニ感ジテ居ルノデアリマスカラ、水産主任官會議ニ於テモ、其事ニ就テハ屢々ソレヲ説キマシテ、各地方ニ歸ッテ各々調査モシ、又縣ノ意嚮モ聽キ、又成ベク出來ルヤウニセシムルヤウニ、又或ハ内務省ノ土木課長會議ニハ、漁港ノ設定方ニ就テ努力シテ貰ヒタイト云フ事ヲ話シニ出タ事モアリマス、其等ノ事實上ノ手段ニ依ッテ、尙又各地方ニ出張シマシタ序ニ、各知事ニ對シテ其意見モ聽キ又吾々ノ意見ニ述ベテ、サウシテ其相談ノ纏ッテ行クモノカラ、漸次ヤッテ行クト云フ遣方ヲヤッテ居ルノデアリマス、今日ノ具體的ノ方法トシテハ、大體サウ云フ方法デアリマス、サウシテ尙ホ自分ノ縣ノ技師ニ信賴スル者ハソレニヤラセマスシ、又本省ノ技師ヲ必要トスル者ニハ、出來得ル限リ派遣モ致シマスシ、其等ノ事實上ノ聯絡ニ依ッテ、成ベク早く、成ベク多クヤリタイト努力シツ、アルノデアリマス、又水産金融ノ關係ニ就テハ、唯今御尋ノ保險等ノ方法ニ依ッテ、モット特殊銀行ガ出來ル前ニモ爲スベキ手段ガアリハシナイカ、其等ニ就テ努力シテ居ルカト云フ御尋ニ就テハ、先程一應申上ゲタ積リデアアルノデアリマス、ト云フノハ今日ノ所デハ二十噸以下ノ漁船登録ノ手段モ無イ、隨テ所有權ノ公證ノ手段モ缺ケテ居ル、登記登録ノ制度ガ不完全デアラカラ、隨ッテ抵當權ノ設定モ出來ナケレバ、擔保トシテモ不十分デアアル、抵當權ナリ、擔保ニナラナイ位デアラカラ、保險ノ目的トシテ、法律上極メテ不完全

ナモノデアアル、是等ノ狀態ハ何等カ直サナケレバナラヌト云フ事ニ就テ、相當考究中デアルト云フコトヲ申上ゲタ積リデアリマス、又此船體ノデハアリマセヌ、漁業權等ニ就テモ、現在ノ漁業權ノ免許制度ガ果シテ宜シイカ、例ヘバ二十年更新ニ依ッテ、其中ノ或ルモノハ地方廳ノ裁量ニ任セルト云フヤウナ事デハ不安定デアアル、必ズ中央デヤラナケレバナラヌト云フ議論モアリマスルシ、又極端ナ論モ言ヒマス、二十年更新ト云フヤウナ年限ガアルカライカヌト言フ論モアリマス、併シ其等ニ就テモ、擔保ノ目的ハ生ジ易クスベテ種々ノ方面カラ研究シテ居リマス、只今マデ具體的ニ發表スルコトノ出來ル程度迄ニ參ッテ居ラスコトヲ遺憾トシテ居リマス

○成田榮信君 金融ノ事ハ元來私共此議會ニ、特殊ノ機關ヲ拵ヘタイ積リデ提案シヤウト思ヒマシテ、唯ダ言ッテモ徹底シナケレバ出來ナイカラ、實ハ内々大藏省ト數回交渉ヲシタノデアリマス、其結果ドウモ水産銀行ト云フヤウナ事デハ、マダ確的ノ成案ガ出來ナイ、斯ウ云フヤウニ言ハレマス、然ラバ勸業銀行ガ御承知ノ通り、從來水産ノ事ハヤレルコトニナツテ居リマスガ、事實ヤッテ居ラスカラ、此部分ノ改正ヲ企ッテ、專務理事ノヤウナ者ヲ置イテ所謂分掌シテ分科ヲシテ此勸業銀行内ニ分科ヲ置イテ、専門ノ知識ノアル人ヲ理事ニシテデモヤレバ、稍々一歩進シタノデアリマス、丁度只今私ヲ大藏省ノ黒田君ガ呼ビニ來マシタカラ、行ッテ交渉シタノデアリマス所ガ是ハ良イ案デアアル、是ハ至極歡迎スル、隨ッテ勸業銀行トモ交渉シテ見タガ、勸業銀行モ是ハ容レルト云フノデ、其通りデ安心シテ呉レ、尙一ツ改正案トシテ出スヤウナコトハ、是ニ依ッテ出サズニ呉レ、此部分ヲ始メルコトニスル、隨ッテ勸業銀行ノ定款ノ改正モ今講ジテ居ル、斯ウ云フ話デアリマス、此點御參考ノ爲メ申上ゲテ置キマス、尙序ニ申上ゲマスガ、農商務省デ水産金融ニ就テハ、勿論御盡力下スツテ居リマスガ、吾々カラ見ルト甚ダ物足りナク思フノデアリマス、本案ノ如キハ洵ニ好イコトハ好イガ、唯ダ徒ラニ法律ナゾヲ竝ベルノガ能事デナイ、實ノ舉ルヤウ

ニスルコトガ最モ必要ナノデアッテ、殊ニ水産ノ金融ト云フモノハマルデ無イノデアリマス、丁度機械ニ油ガ無イト同様デアリマス、隨ッテ收獲モ少イト云フ事ヲ憂ヘテ居リマス、其本ハト云フト金融機關ガ無イ爲メドラウト思ヒマス、種々原因モアリマセウガ、一大原因ト思ヒマス、是等ニ就テハ今少シク水産局トシテモ非常ナル御努力ヲ戴カナケレバ、マダ勸銀デソコ迄ノ金融ハヤルト云フテモ、甚ダ素人ノ勸銀デハ私ハ満足シナイ、是ハ或時期迄至ッテ、特殊機關ヲ制定スルト云フ事ニ達シナケレバイケナイト思ヒマス御承知ノ通り水産ノ收獲ハ約十億程アルニ拘ラズ、是ノ機關ガ無イト云フコトハ、國家ノ大缺陷デアルト云フコトヲ吾々ハ叫ンデ居ルノデ、モウ少シ農商務省ノ立場トシテハ、此點ニ就テ御努力ヲモウ一歩進メテ願ヒタイ、徹底的ニ願ヒタイト云フノガ私ノ希望デアリマス、右ノ事柄ヲ御參考ニ申上ゲマス

○小池仁郎君 成田君ノ御話ヲ承リマシテ大ニ將來望ヲ持ツノデアリマスガ、私ハ北海道ニ特別ナル關係ヲ有ッテ居リマスカラ、北海道ノ拓殖ノ金融ニ就テハ、北海道拓殖銀行ガヤッテ居リマシテ、勸業銀行ハ多ク及バナイトハ申シマセヌガ、多クハ内地ニ放資シテ居リマス、北海道ハ特ニ拓殖銀行ガヤッテ居ル次第デアリマスカラ、勸業銀行ト同様ナ事カラ、北海道拓殖銀行ニモ何ト云フカ規則ヲ改定セラレル様ニ希望シマス、其次ニ當局者ニ希望スル事ハ成田サント同様デアリマスガ、金融ニ就テハモウ一段ノ御研究ト、具體的ノ案ヲ立ッテ進行スルコトヲ希望致シマス、ソレカラ補助金ヲ交付スルト云フ事ガ第四條ニ規定シテアルガ、本年度ハ八千五百圓デアッテ、是水産會ガ出來レバ更ニ増額シテ、先ヅ五萬圓位ト云フコトヲ先程御説明ガゴザイマシタガ、是ハドウ云フ所ニ補助ナサルノデアリマス、唯今施行規則等ヲ戴キマシタケレドモ明瞭デアリマセヌガ、若シ漁民救済ニ就テ補助スルト云フ事デアレバ、甚ダ少額ニ失シハシナイカ、又改良發達ヲ圖ルト云フコトデアリマスレバ、水産業ノ改良發達ハ中々容易デナイ、陸上ニ投ゲタ金ハ幾ラカ跡ガ殘リマスケレドモ、水ノ上ニ投ゲタ金ハ跡ガ殘ラナイノデアリマス、跡

ガ見ヘナイカラ、自然ニ金融ノ方ニモ及ボスノデ、水産ニ從事スル者ハ、人ノ知ラナイ努力ヲシテ資本ヲ出シテ居ルコト云フコトハ、是ハ當業ニ關係ノアル諸君ハ御承知ノ所デアリマス、此發達ヲ圖ルコト云フコトニ就テハ、見ルコトノ出來ナイ方面ニ金ヲ注足スノデアリマス、又一面金ヲ注足シテ其結果ガ面白クナイカラト云ウテ直ク止メテシマヘバ、是ハ何時迄經テモ其結果ヲ收メル事ガ出來ナイ、又之ヲ續ケテヤラウトスルコト中々容易ナ事デナイ、隨テ左様ナ業務ニ對シテ改良セシメ、發達ヲ圖ラシムルニ就テハ、此補助金ハ餘リ少額デナイカ、併シ私ハ補助ノ方法ニ就テ分ラナイノデ、左様ナコトヲ申上ゲテ失禮デアリマスガ、第一ニ補助ヲ爲サル方法デアリマス、如何ナル者ニ補助金ヲ交付スルカ、即チ大正十年度ニアル八千五百圓ト云フ此豫算ハ、ドウ云フ方面ニ交付スルカ、其點ヲ御尋シマス

○村上政府委員 唯今申上ゲタノハ國庫補助ノ事デアリマスルガ、國庫補助ニ就テハ、大體帝國水產會ト道府縣水產會ニ對シテ直接補助ヲ致ス積リデアリマス、郡市水產會ニ對シテハ、特別ノ場合ニ或ハ致スカ知レマセスガ、原則トシテハ帝國水產會ト道府縣水產會ニ補助スル考デアリマス、併シ方法ニ就テハ大體ヲ經常補助ト、指定事業補助ト分チマシテ、經常ノ方ハ經常費ニ對シテ、指定補助ハ特殊ノ事業ニ對シテ、特ニ有要ナリト認メタノニ對シテ補助スル、斯ウ云フ遣リ方ニヤリタイト思ヒマス

○小池仁郎君 農會ノ事ハ大分此水產會トハ性質ガ違ッテモ、成立チノ法文ハ大抵同ジヤウデアリマスガソレニ依ルト如何ニモ國庫ノ補助ハ、所謂帝國農會、道府縣農會ニ補助ガアルヤウデアリマス、其又道府縣ガ郡農會ニ、郡農會ハ又町村農會ニ補助ヲスルト云フ様ニ、順ヲ追ウテヤッテ居ルノデアリマスカラ、自然サウ云フ關係ヲ水產會モ持ッノデハナイカト考ヘマシタカラ御尋シタノデアリマスガ、豫算ニ計上サレタル金額トシマスレバ、單ニ帝國水產會若クハ道府縣水產會ノ、詰リ事務費ノ補助ト云フ位ニ過ギナイカト思ハレマスガ、現在ニ於テ此八千五百圓ト云フモノハ、ソレヲ内譯シマスレバドンナ事ニナッテ

居リマセウカ、餘リ細カイ事ニ涉ルヤウデアリマスケレドモ、將來ハ八千五百圓デナク、五萬圓モ十萬圓モ二十萬圓ニモナルノデアリマセウカラ、其點ヲ御尋シテ置キタイ、ソレカラ五萬圓トアリマシタガ、全國ノ水產會ガ悉ク成立ッタトキニ五萬圓ニナルノデアリマスカ、或ハ其金額ハモット増額スルト云フ御方針デアリマスカ

○村上政府委員 十年度ノ豫算ニ計上致シマシタ八千五百圓ト云フノハ、如何ニモ少額デアリマスガ、是此水產會法案ガ兩院ヲ通過シマシテ、更ニ施行期日ヲ定メマシテ施行スル、ソレカラ各方面ニ作ラセルノデアリマスカラ、十年度内ニ成立スベキ水產會ハ、比較的少ナイ積リデアリマス、ソレガ大體年度ノ終リニ近ツイテ出來ルヤウニナリマスカラ、十年度ノ豫算トシテハ、一應此位デ宜イト云フ見込ヲ立テタノデアリマス、而シテ此帝國水產會モ出來マシテ、大體水產會ノ成立ガ其緒ニ就キマシタ時ニハ、平年額トシテ大體五萬圓位ノ心組ト云フコトニ申上ゲタノデ、其金額ガ少ナイト云フ御尋ニ就キマシテハ、私共モ其金額決シテ満足致シテ居リマセス、將來水產會ノ發達ニ伴ヒ、益々増額サレルコトニ就テ、何所マデモ努力致ス積リデ居リマスガ、唯今ノ政府トシテノ腹案ガ、取敢ヘズ平年額ニ於テ五萬圓ト云フ見込ヲ一應致シテ居ルト申上ゲタ次第デアリマス

○小池仁郎君 私ノ言葉ガ足りヌカ知リマセスガ、マダ少シ了解ニ苦シムノデアリマスガ、如何ナルモノニ補助金ヲ交付スルカ、其交付ノ歩合ト云フモノハ御決定ニナッテ居ルカ、ソレヲ御聽シタイノデアリマス、例ヘバ此十年度ニハ、帝國水產會ノ設立モ、其次ノ水產會ノ設立モ段々遅レマスカラ、是ハ月割ニナサルノデアリマセウカラ、金ガ少クテ宜イト云フコトガ分リマスガ、ドウ云フ歩合デ交付ニナルカ、事業ニ關スル補助ノ交付ト、一般經常ニ關スル交付金ト、斯様ニアラウカト思ヒマスガ、其歩合ハドンナ事ニナリマスカ、ソレヲ御尋シタイデアリマス

○村上政府委員 補助ノ方法ハ經常補助ト指定補助トニシタイト云フコトハ、先程申上ゲタト記憶シテ居リマス、而シテ其歩合ハ各水產會ガ計畫シマス事業

ノ種類ニ依ッテ、色々考ヘナケレバナラスノデアリマシテ、ドノ種類ノ事業ニ對シテモ、又ドノ水產會ニ對シテモ、一率ニ歩合ヲ定メルト云フコトハ六ヶシカラウト思ヒマシテ、其歩合ト云フモノハ立テ、居リマセス、唯道府縣水產會ノ經常補助ハ、一水產會ニ對シテドノ位ヤラウカ、又指定事業ニ對シテハドウ云フ種類ノ事業ハドウト極ク大綱ノ見當ハ多少立テ、居リマスガ、歩合ト云フモノハ其水產會ノ事業ノ大小性質等ニ依ッテ色々出來マスカラ、歩合ト云フコトハ一寸立テ、居リマセス

○小池仁郎君 ソレハ命令ノ方ニデモ規定ナサルト云フ思召デスカ

○井上政府委員 一定ノ率ヲ立テルト云フ事ハ――率ト私ガ申シマスノハ、或府縣水產會ガ斯クノ事業ヲスルトスレバ、例ヘバ販路ノ調査ノ仕事ヲスレバ、ソレニ對シテ必ズ二分一ハ補助スルト云フ事ハ、豫算總額ガ定ッテ居リマスカラソレハ出來マセヌノデ、總額ノ範圍内ニ於テ取捨シテ行クコトニナリマス、隨テ其率ヲ規則的ニ定メルト云フコトハ、出來マセヌト考ヘテ居リマスカラ、隨テ施行規則ニモ書カナイ積デアリマス

○小池仁郎君 第二十六條ニアリマス經費分賦ノ事デアリマスガ、是ハ先程ノ御説明ニ依レバ、極メテ少額ナル金額ノヤウニ拜承致シマシタガ、之ニ尙ホ訴願、行政訴訟等ヲ許スト云フコトハ如何ナルモノデアリマセウカ、既ニ強制加入マデモサウシテ居ルノデアリマスカラ、正當ナル決議ニ依ッテノ經費ノ分賦過怠金デアリマス故ニ、成程異議ノ申立ハ是ハ相當ノ場合ニ許スコトモ宜イデアリマセウガ、訴願、行政訴訟ヲ提起スルコトヲ許スナラバ、寧ろ紛雜ヲ招ク虞ガアリマスマイカ、是ハ他ノ事ニハ斯ウ云フ事ハナイヤウニ見マシタガ、是ハドウ云フ御趣旨デアリマセウカ

○村上政府委員 經費ガ一人當リ五十錢、極ク僅ナ經費ヲ大體最低限度トシテ豫想シマシタノハ、斯ウ云フモノ、出發ノ初ニハ、成ベク負擔ヲ輕易ニシテ、漸次效果ノアルニ從ッテ多クシタイト云フ考デ、成ベク低クト云フノデシタノデアリマス、現在ノ水產組

合アタリノ經費カラ勘定致シマシテモ、負擔額ヲ今少シ多クシテモ、堪ヘナイト云フ程度デハナイト思ヒマシタケレドモ、成ベク事業ノ發達ニ連レテ増加スル方ガ宜シイ、出立ノ際ニハ成ベク輕クシテ置キタイト云フ趣旨カラ起キマシタノデ、ソレトモ平均デ申上ゲタノデ、之ヲ實施シマス場合ニハ會則ニ讓ッテ居リマスガ、或ハ頭割ニシ、或ハ漁獲高ヲ斟酌シ、或ハ賣上ヲ斟酌スルト云フコトモアラウト思ヒマスカラ、一人當リノ金額ハ是ヨリ低クナルノモアリマセウシ、高クナルノモアリマセウ、而シテ斯ウ云フ些少ノ金額ニ就テ、異議ノ申立ハマダ宜イトシテモ、訴願訴訟マデノ途ヲ開クト云フコトハ、ソレマデニモ及ブマイデハナイカト云フ御尋ノヤウニ承知致シマシタガ、此經費ノ賦課ノ問題、又分賦徵收方法ノ問題ハ、單ニ金額ニ拘ラズ、主義トシテ負擔スベキモノナリヤ否ヤト云フ事モ、餘程重要ナル場合ガアラウト思ヒマス、隨テ斯ウ云フモノノ負擔ニ就キマシテハ、何所マデモ最後マデ爭ヒ得ル途ヲ慎重ニ盡サセルト云フコトガ、事業ヲ圓滿ニ實行シテ行ク上ニ於テ、ドウシテモ必要ニナリマセウ、御話ノ通りニ實ハ他ノ産業團體ニハ殆ドナイノデアリマス——ナイノデアリマスガ、特ニ水產會法ヲ設ケマシタノハ、現ニ國稅トカ市町村稅其モノニスラ異議ノ申立ノ出來ルヤウニ、勿論訴願訴訟ノ途モ開イテアルノデアリマスカラ、隨テソレヨリ稍々程度ノ輕イ産業團體トシテ——自治團體トシテノ水產會ノ如キニ就テハ、單ニ金額問題ノミナラズ、種々ノ點ニ就テ途ヲ開イタ方ガ宜シイト云フ積リデアリマス、強制加入ト云フ御論デアリマスガ、吾々ハ強制加入ト云フコトガアル故ニ、尙ホ慎重ニシナケレバナラス、サウスレバ強制加入ノ弊ト云フモノモ、之ニ依ッテ救ヒ得ルト思ヒマス

○小池仁郎君 此問題ニ就テハ、是レ以上申上ゲマシレバ議論ニナリマスカラ、訴願行政訴訟ニ就テノ事ハ止メマスガ、此徵收金ノ先取持權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次クモノトスレトスアルノデアリマスガ、此實際ノ取扱ハドウ云フコトニナリマスガ、例ヘバ市町村ガ強制執行ノ事ヲヤツタ場合ニ、他ニモ矢張同様に債權ヲ有スルモノガアツテ此順位ノ變ルト云フコトハナイデセウカ、其實際ノ取扱ニ就テ御尋シタイノデアリマス

○村上政府委員 此「準スヘキモノ」ト云フノハ、例ヘバ水利組合ノ如キモノヲ豫想シタノデアリマス、ソレデ其以外ノモノハ先ヅ今迄ノ所デハ重複スルモノガナイト考ヘマス、併シ製造業者販賣業者モアリマスカラ、他ノ法律ノ條章ニ依ッテ重複スル場合ニハ其等ノモノハ同等ノ地位ニ立ツモノト解釋シテ居リマス

○小池仁郎君 サウスルト同等ノ位置ニ立ツト云フト、ドウ云フコトニナリマセウカ

○村上政府委員 此執行ノ方法ハ、市町村長ノ職權ニ屬シテ居ルノデアリマスカラ、其時ハ市町村長ガ決定スルト思ヒマスガ、私ノ豫想シテ居ル所デハ、同等ニ立チマシタ場合ハ、ソレハ按分スルヨリ方法ハナイト思ヒマス

○小池仁郎君 此附則ニ「施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、凡ソ是ハ決定後ドノ位ノ時ヲ以テ施行ニナル御積リデアリマスガ

○村上政府委員 出來マスコトナラバ、五月一日施行ニ致シタイト思ヒマスガ、遅クモ六月一日施行ニハ、是非共致シタイト考ヘマス

○小池仁郎君 現ニ出來テ居ル水產組合、水產組合聯合會ハ、大臣ノ認可ヲ受ケ水產會トナスコトガ出來ル、斯様ニナツテ居ルノデアリマスガ、私ハ内地各府縣ノ水產組合ノ狀態ヲ能クハ存ジマセヌガ、北海道ニ於キマシテハ水產組合ハ所謂郡水產組合ト云フヤウナモノデ、大キナ組織デ出來テ居ルモノハ今日ナイノデアリマシテ、多クハ郡ニナツテ居リマス、丁度今日ノ郡農會ノ制度ト同ジヤウナモノニナツテ居リマスガ、サウスルト水產組合ト水產會トノ關係トシテハ、茲ニ參考書類ガ出ラ居ルノヲ見マス、先ヅ水產組合デアツテモ宜イ、斯ウ云フ風ナ事ニ解釋スルコトガ出來ルノデアリマス、ソレニハ既ニ先刻何方デアツタカ、漁業組合ト水產組合デサヘ混同シ易イ、尤モソレハ營利デアルト營利デナイトノ違ハアツテモ、組合ガ出來テ此組合ノ經費ノ負擔ハ、矢張當業者

ノ分擔デアリマスカラ、斯ウ云フ團體ガ出來ル度ニ當業者ノ負擔ノミガ増スト云フ虞レガアル、水產會ガ出來タナレバ寧ロ從來ノ水產組合ト云フモノヲ止メニシテ、悉ク之ヲ統一スル、斯ウ云フコトデアリマセスト云フト、水產會ノ本來ノ目的ヲ達成スル上ニ邪魔ニナリハシナイカト實ハ考ヘテ居リマス、此點ニ就キマシテ當局者ハドウ云フコトニ御計ヒニナルノデアリマスガ、是ハ直グ認可ヲ受ケサヘスレバ、水產會トスルコトガ出來ル、斯様ニシテアルガ、一面ニハ又ソレハ存シテ置イテモ一向差支ナイ、要スルニ固有ノ目的ガアツテ——現存ノ水產組合ハ水產組合固有ノ目的ガアツテ、此水產會ナルモノトハ決シテ反スルモノデナイ、兩立スルモノデアルト斯ウ云フコトニナリマスガ、ドウ云フコトニナリマセウカ、若シ當業者ガ現在ノ水產組合ヲ以テ足レリトシテ、水產會法ニ依ル水產會ヲ設ケヌ場合ハ、ドウ云フコトニナリマセウカ、其關係ヲモウ少シ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○村上政府委員 此御尋ニ就キマシテハ、現在ノ水產組合ノ現狀カラ申上ゲナケレバナラスト思ヒマス、現在ノ水產組合ニハ漁業法ノ規定カラ申シマス、組合員共同ノ利益ヲ圖ルト云フ事モアリ、又同業組合法全部ヲ準用シテアル等ノ所カラ見テ、本來同業組合式ニ設立サルベキモノヲ、實質ニ於テハソレヲモウ少シ擴張シテ、例ヘバ水產會ト云フヤウナ意味ニ事實ナツテ居リハシナイカト云フヤウナ遣方ニ依ツタモノガ現ニアルノデアリマス、大體ニ於テ同業組合的ノ水產組合ト、又水產會法ニ依ッテ出來ルベキ水產會トガアルノデアリマス、而シテ同業組合式ニヤツテ居リマス水產組合ハ、今後益々發達サセル必要ガアルノデアリマスカラ、此等水產組合ハ決シテ削レナイノミナラズ、一層發達サセル必要ガアルト思ヒマス、最モ顯著ナルモノヲ申シマスレバ、例ヘバ捕鯨組合「トロー」組合ト云フモノガアルノデアリマス、是等ハ重要物產同業組合ト稱スベキモノデナイノデアリマスカラ、矢張水產組合トシテ發達セシメネバナラスト思ヒマス、唯ダ各地方ニ實際アリマス所謂郡ノ水產組合ト云フヤウナモノニハ、自然此同

業組合的ノモノデナクシテ、水産會のノ者ガアルノハ明カデ中ニハ矢張検査事務ヲ主タル目的トスルト云フ同業組合式ノモノモアルノデアリマス、ソレニハ所謂水産會の水産組合ハ此際引直サレル、ソレニハ便宜ノ手段ヲ成ベク與ヘル爲メニ、其經過規定トシテ附則ニ於テ認可ニ依ッテ引直シ得ルト云フ途ヲ開イタノデアリマス、而シテ此經過規定ニ依ラナイ水産組合ハ如何ニスルカト云フ事ニ就テハ、ソレハ漸次整理シテ行クベキ方針デアリマシテ、法律ヲ以テ強制シテ俄ニ解散ラサセナイデ、例ハ水産會法ニ依ッテ引直シマスレバ、補助金モアリマス、又法律上權威アル團體ニナルノデアリマスカラ、相當ニ指導シマスレバ漸次其方ニ代ル、而シテ水産會的水産組合デナイモノハ同業組合的水産組合トシテ益々發達セシムル、其間ニ必要ナモノガ其儘殘ルト云フ様ナコトガ尙ホアリトシマスレバ、ソレハ水産組合法ヲ準用シテアリマス同業組合法ノ規定ノ活用ニ依ッテ、十分ニ整理シ得ルト思ヒマス、併シ法律的手段ヲ用キナイデ、大體解釋シ得ル見込デ居リマス

○小池仁郎君 其點ニ就テ私ハ少シ満足致シマセスガ、自分デモモウ少シ考ヘテ更ニ質問シヤウト思ッテ居リマス、モウ一ツハ水産會ニ漁業取締ニ就テ、何等カノ所謂權能ヲ與ヘラレルカドウカ、漁業ノ監督吏員ト云フモノガ設ケラレテ居ル所モアルノデアリマシマス、是ハ漁業ハ中ニ御役人許リデハ容易ニ徹底シナイ、ソレハ矢張斯ウ云フ水産會ノ如キモノガ發動シテ、其目的ヲ達スルニ適當ト考ヘルノデアリマシマス、此法律ノ中ニハ何等規定モアリマセヌガ、何カ之ニ就テ御考ガアリマセウカ、其點ヲ承リタイ

○村上政府委員 其監督吏員ニ就キマシテハ、會則其他ニ於テ水産會ガ設ケルト云フコトハソレハ宜シカラウト思ヒマス、併シ之ヲ所謂漁業監督吏員、漁業法ニ依ッテ認メラレタ法律上ノ權限アル官吏ト同様ナ監督吏員ヲ置クト云フコトハ、ソレマデノ必要ガナイト認メテ、法律ニ何等規定シナカッタ次第デアリマス

○高草美代藏君 私ハ質問ハ幾ラモゴザイマスケレドモ、成ベク質問モ議論モシナイ様ニシテ、早ク本院

ヲ通シテ貴族院ニ廻シテ御覽ヒシタイト考ヘテ居リマスカラ、極ク簡單ニ御尋シタイ問題ガアル、ソレハ過日本會デ御尋シタ當時ニ、ドウモ要領ヲ得マセナカッタカラ、重ネテ質問シタイト考ヘマスノハ、遠洋漁業ノ必要ナル事ハ今更私ノ申スマデモアリマセヌケレドモ、此遠洋漁業ヲ盛ニスル事ニ就キマシテハ、通漁ノ方ハ色々獎勵ガ出來テ居リマスガ、所謂植民のノ移民漁業ニ對シテハ何等ノ獎勵モナイヤウニ考ヘテ居リマスガ、之ニ對シテ將來何等カノ御抱負ガアルカドウカ、ソレカラ第二ニ矢張朝鮮海ノ事デゴザイマスガ、御承知ノ通朝鮮海ニ於テハ非常ニ澤山内地カラ漁業ニ參リマス、昨年ノ如キ殊ニ鯖ノ漁業ノ如キハ非常ニ盛デアリマシテ、朝鮮海附近ニ約一千艘位ヤツテ居リマス、其當時ニハサウ云フ正業者ガ一千艘モ出テ居リマスノニ、不正ナ所謂爆發藥ヲ以テ魚類ヲ獲ルト云フ不正漁業者モ、約五百艘位アルト云フコトデアリマスガ、爆發藥ヲ以テヤリマス、隨分漁獲モアルノデアリマスガ、正業者タル一千艘ノ漁業者ハ之ガ爲メニ非常ニ慘害ヲ受ケマシテ、漁場ハ荒レテシマツテ非常ニ困難ヲ來シテ居リマス、是ハドウシテモ爆發藥ノ取締ト云フコトヲシナケレバ防グ方法ガナイ問題デアリマスガ、其取締ガ出來ヌガ爲メニ昨年ノ如キ鯖網ヲヤツテ居リマス正業者ノ損害ハ、約二十四五萬圓モアルト云フ事ヲ聞及ンデ居リマス、是ハ朝鮮海ノ漁業ニ取リマシテハ重要ナ問題デアリマス、尤モ是ハ支那ノ方面カラモ隨分來ルト云フ事デアリマスガ、併ナガラ其大部分ハ或ハ島根縣トカ、或ハ愛媛縣トカ、若クハ大分縣ト云フヤウナ所ノ漁業者ガ之ヲヤツテ居リマス、是ハドウシテモ政府トシテ、此取締ヲ總督府ト何等カノ交渉ヲ爲サレマシテヤリマセスト、正業者ハ非常ニ損害ヲ來シテ漁業上重要ナ問題ト思ヒマスガ、此事ニ就キマシテノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、其次ニハ過日モ御話致シマシタ様ニ、聞ク所ニ依レバ不日內務省カラ公有水面埋立法ト云フヤウナ法案ガ出ルト云フコトデアリマスガ、之ニ就キマシテハ今ヤ漁業ガ盛ニナルト同時ニ、養殖モ非常ニ盛ニナッタノデアリマスガ、殊ニ鰻ノ如キ今日調ベテ見マス、需要サレ

テ居リマス四割内外ト云フモノハ、養殖デ出來タ鰻デアルト聞イテ居リマス、是ハ獨リ鰻許リデアリマセヌ、是ハマダ非常ニ盛ニシナケレバナラヌガ、此養魚池ヲ設ケルニ就テ非常ニ支障ガアルノデアリマスソレハ何カト云フト御承知ノ通り、公有水面ニ於キマシテ近時開墾助成法ト云フモノノ適用ニ依ッテ、出願者ハ公有水面ノ成功ノ上ハ權利ヲ得ラレルノデアリマスケレドモ、同ジ所デ池ヲ造ッテ養魚ヲスルト云フコトニ就テハ、同ジ公有水面デ成功ノ曉ニナツテモ權利ガ得ラレヌ、所有權ガ自分ニ屬セスト云フヤウナ支障ガアルノデアリマス、是ハ開墾助成法ニ依ッテ自分ノ所有權ニナルト同ジヤウニ、養魚者ニモ此權利ヲ與ヘタルト云フコトニナリマセスト、本氣ニナツテ此上大ニ發達スルコトガ出來スト思フノデアリマスガ、此點ニ就テ不日內務省ガ出シマス此法案ニ就テ、水産當局カラ何等カ御交渉ガアリマシテ、此法案ノ中ニ左様ナ支障ヲ取除クト云フコトガ含マレテ居ルヤ否ヤト云フ事ヲ伺ヒタイ、含ンデ居ラスト云フ事ナラバ、農商務省ハ此件ニ就テ御盡力ガ願ヒタイト云フ事ヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラモウ一ツ最終ニ臨ミマシテ、是ハ政府當局者モ御承知デアリマセウ、又皆サンモ御承知デアリマセウガ、昨年ノ尼港事件ニ連座致シマシタル問題デアリマシテ、是ハ勘察加州ノ所謂「オホーック」郡ニ於キマシテ、從來此處ニモ非常ニ日本内地カラ漁業者ガ參リマシテ盛ニ漁業ヲヤツテ居リマス、彼處ハ御承知ノ通り、非常ニ多イ處デアリマシテ、一尾跳ネマシテモ、其鰻ノ群ハ殆ド百石モ居ルト昔カラ申シテ居ル位非常ニ盛ニ鰻ガ居リマス、ソレヲ獲リマス爲メニ、日本人ガ澤山行ッテ居リマスガ、アノ尼港事件ニ連座シテ、殆ド陸上ノ設備モ何モ彼カ燒カレテシマッタト云フ大慘害ヲ受ケタ事ハ御承知デアラウト思フ、此事ニ就キマシテハ其内容ヲ調べテ見マスルト、會社モアリ亦個人モアル、此會社個人ノ損害ヲ合セマス、非常ニ大キナ額ニ上リマシテ、非常ニ困難ヲ致シテ居リマス、既ニ御承知ノ通り本年度ノ季節ニモ差迫ッテ居リマス、既ニモ拘ラズ、此事ガ解決ヲ致サヌ爲メニ、マダ賠償ヲ致サレヌ爲メニ既ニ本年度ニ於ケル仕事

ニ掛ラナケレバナラヌノガ、掛ルコトガ出來スト云フヤウナ悲惨ナ目ニ遭ッテ居ルノデアリマス、聞ク所ニ依レバ其中デ會社ノ方ハ殆ド合同ガ出來掛ケマシテ、朝鮮銀行カ勸業銀行カニ交渉シテ、一千万圓ノ金ヲ借りルト云フコトガ成立シ掛ケタト云フ、或ハモウ成立ッテ居ルカモ知レマセヌガ、サウ云フ有様デ此方ハ餘程旨ク出來掛ケマシタガ、非常ニ難儀ヲシテ居ルノハ、殘ッテ居ル個人ノ漁業者デアリマス、是ハモウ網モ船モ小屋モ燒カレ、網干場モ製造場モ、罐詰機械モ燒カレテシマッテ、目下漁業ノ季節ニ差迫ッテ、競争入札ノ場合モ差迫ッテ居ルニモ拘ラズ、ドウスル事モ出來スト云フ慘澹タル有様デアリマシテ、此事ニ就キマシテハ、既ニ賠償ノ件ヲ露國政府ヘ交渉シテ貰ヒタイト云フ請願ヲ致シテ居ルト云フコトデアリマス、所ガ御承知ノ通り、マダ露國ノ正當政府ト云フモノハ出來テ居リマセヌガ、兎ニ角浦潮政府ニデモ交渉ヲ致サレマシテ、サウシテハ他ノ尼港事件デヤラレタ者トハ性質ガ異ッテ居リマスカラ、今年度ノ競争入札ニ依ッテ日本人ニ落札致シマス、矢張何百万圓ト云フ金ヲ納メルノデアリマスカラ、ソレヲ引當ニデモシテ、政府ガ相當ノ御努力ヲナスッテ、政府ガ一時立替ヘルトカ、若クハ向フノ假政府ニ此際速ニ交渉ヲサレテ、サウシテ相當ノ便宜ヲ御與ヘニナランコトヲ希望スルノデアリマス、是モモウ既ニナサッテ居ルカモ知レマセヌガ、若シソレヲ御努力ナサッテ居ルナラバ、何處迄御努力ヲナサツカカ其内容ヲ承リタイト思ヒマス、是ハ獨リ其個人ナリ、會社ナリノ——會社ハ只今申上ゲタヤウニ一千万圓ノ金ヲ借ルノデアリマスカラ、此方ハ仕事ガ出來マセウガ、個人ハ仕事ヲスルノニ手モ足モ出スト云フ今日ノ窮狀デアリマス、獨リ是ハ個人ノ利害ニ關係ヲスルノミナラズ、此方面ノ漁權ヲ發達サスト云フコトハ、所謂國權ノ消長ニ關係ヲスル重大ノ問題デアリマスカラ、十分政府ノ意ノ有ル所ヲ御聽キシタイト思フノデアリマス

○村上政府委員 第一ノ移民の漁業ノ獎勵ノ方法ニ就キマシテハ、國際關係上支障ノ無イ方面カラ出來ルダケヤリタイト思ッテ居リマス、而シテ現在採リマ

シタ手段ト致シマシテハ、先刻モ申上ゲマシタ新嘉坡方面ノ移民の漁業——ト云フト語弊ガアリマスガ兎ニ角彼方ヘ行ッテ常住のニ仕事ヲ致ス漁業ニ就キマシテハ、相當ノ援助モ致シテ、今日百万圓ノ會社モ出來ル程發達ヲ遂ゲテ居ルノデアリマス、其方面ニ於テ尙ホ發達スル方面ハ中々廣イト考ヘテ居リマスカラ、十分ヤリタイト思ッテ居リマス、唯ダ其獎勵ノ方法ニ就キマシテハ、今日ノ所デハ遠洋漁業獎勵法ニ依ルヨリ外途ガ無イ、而シテ此獎勵法ノ現在ノ立方デハ、漁船ヲ主トシテ居リマスシ、又漁業獎勵金ト致シマシテハ、特殊ノモノニ限ッテ居ルヤウナ譯デアリマスカラ、此出漁者ノ獎勵金ト致シマシテハ、支出ノ方法ガ不便デアリマスシ、又金額ニ於テモ決シテ満足シテ居ラヌノデアリマス、隨テ是等ノ方面ヲ開發シマス爲メニ就キマシテ、獎勵法ヲ如何ニ改訂スベキカト云フコトハ目下研究中デアリマス、又ソレガ相當成果ヲ得マシレバ獎勵費ノ増加ニ就キマシテモ、出來ルダケ努力ヲ致シタイト思ッテ居リマス、第二ノ朝鮮近海ニ於ケル爆發漁業ノ問題ニ就キマシテハ、爆發物ヲ取扱ッテ漁業ヲスルト云フコトハ、既ニ爆發物ノ取締ノ上ニ於キマシテ反則デアリマスカラ其等ノ取締ニ就キマシテハ、地方廳ナリ、總督府ニ於テ、地方警察事務トシテ十分ニ取締ルベキモノデアリ、又現ニ十分取締ッテ居ルト思ヒマス、其取締ガ本位デアリマスガ、併シ水産ノ方カラ申シマシテモ、爆發物ヲ投ジタ爲メニ、單ニ浮イタ鰐ヲ獲ルト云フ以外ニ非常ニ弊ノアリマスコトハ、爆發物ノ振動ニ依ッテ浮游生物ヲ全滅サス結果トシテ、其附近ノ海ニハ再ビ魚ガ棲マスト云フ弊害ヲ生ジマスノデ、漁業ノ取締カラ申シマシテモ、十分取締ラナケレバナラヌコトデアリマス、併シ本來ハ地方警察事務デアリマスカラ、漁業ノ監督トシマシテハ、農商務省ノ速島丸ヲ度、其方ヘ出動サセテ、地方警察事務ノ補助ニ努メサセテ居リマス、幸ニモ長崎縣ノ警察署ト、對馬ニ於ケル殊ニ鷓地ノ署長ナドガ、非常ニ働イテ居リマシ、又裁判所トモ色々協力シマシタ結果、只今ノ所デハ内地ノ水面ハ稍々小康ヲ得タヤウナ形ニナッテ却テ朝鮮方面ガ盛ニナッテ居ルヤウナ狀態デアリマ

ス、是等ハ總督府ニ於テモ非常ニ注意致シマシテ、現ニ沿岸地方方面ニソレト出動ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、其等ノ方法ニ依ッテ尙ホ總督府ト吾ト協力ヲシテ、全滅スルヤウニシタイト考ヘテ居リマス、第三ノ養殖ノ事ニ就キマシテ、養魚池ノ換地處分ニ就テ、今日ノ制度ガ面白クナイト云フコトニ就キマシテハ、私モ承知致シテ居リマスルガ、是ハ一面ニ於テ制度ノミデナクシテ、取扱ノ不満足ノ所モアルカト思ヒマス、是等ハ取扱上直シ得ル事ナラバ、成ベク早く直スヤウニ關係ノ方面ニ交渉致シツ、アリマスルシ、尙ホ一層努力スル積リデアリマス、併シ制度ニ於テモ缺陷ガアルヤウニ存ジマスカラ、先程御話ノ公有水面埋立問題ノミナラズ、養魚ノ事業ヲ發達セシムル上ニ相當ノ制度ヲ立テタイト思ヒマシテ、是モ目下調査致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、第四ノ「オホーック」方面ノ問題ニ就キマシテハ、一々御尤ニ存ジマス、而シテ其御答ハ本來外務當局カラ御答致スベキ筋合デアリマスガ、私ノ存ジテ居ルダケノ事ヲ極ク簡單ニ申上ゲマスレバ、損害ノアリマシタトキハ御話ノ通り、個人救済ノ急ヲ要スルト云フ事モ、亦御話ノ通りデアリマス、又隨ッテ外務當局ニ於キマシテモ、マダ浦潮政府ノ崩潰前ニ色々盡力サレタコトモアリマスルシ、色々努力サレテ居ルコトハ私承知シテ居リマス、併シ段々漁期モ切迫スルノデ、一層ソレヲ急ガナケレバナラヌコトモ、御尤ニ存ジテ居リマス、唯ダ如何ナル方法ヲ現ニ執リツ、アルカト云フコトニ就キマシテハ、只今一寸申上ゲルコトガ其時機デアアルカドウカ、如何カト思ヒマス、兎ニ角出來ルダケノ努力ハ水產當局トシテモ致シタイト存ジテ居リマス

○委員長(松本孫右衛門君) ソレデハ今日ハ此程度ニ止メテ散會致シマス、次回ハ公報ヲ以テ御通知致シマス

午後四時十二分散會